新體制第一次の新年を迎へて

新年は目出たい。理學から云ふなら、舊年と新年とは只一日の差で、なほ細かく云へば、昨夜から今曉への一分一秒の距たりでしかない。で、あるからかゝる瞬間に、森羅萬象が皆悉く、截然一新する譯のものではない。が、併しそれにしても、人は永い間の習慣から、新たなる心を以て新たなる年を迎へ、舊い塵埃を振落して新たなる希望を抱かんとする裡にも、特に本年の新春は、新體制の實施を受けての、舊套蟬脫、更始一新第一次の新年であるから、その嬉しさ、喜ばしさ、目出たさ、眞に限りなしである。

斯く言ふも、舊きものの總てが悪くして、新たなるものの悪く善と云ふのではない。舊きものも古き時代には良くもあり、必要でもあり、貴重でもあつたのであるが、是れが周圍の情勢變るに從ひ改めねばならぬことになり、而かも其革新が、現在の世界に於けるが如く急變の場合は、新體制若くは全體主義に轉換せざるを得ないのだ。

即ち現在の日本の如く、某々國等の侵畧主義から亞細亞を救はんとするには勢ひ救援の聖戰を起すの餘儀なきことゝなるのであり、聖戰長きに亘つて物資の供給に不足を感ずる場合は、之を統制する自主的經濟政策を樹ねばならぬのである。殊に最近の如く、米英提携して對日輸出禁止を斷行し、且つ援蔣行爲を更に一段強めて、日本に敵對するに於ては、日本も之に對抗するの必要上、日滿支並に南洋を包含する、大東亞共榮圏の經濟力に重點を置く處の、自主自足の大計畫を樹立せざるを得ないのも當然な事柄である。

然らば新體制とは如何なるものかゝ云へば、之は茲に喋々するまでもなく、その根本の原理は國民總意の體制であつて、具體的の目的は高度國防國家の建設にあると云ふに外ならない。故に此の目的のもとには政治、經濟、教育、文化等が各々部門を分つて邁進するのであるが、その中にも經濟に於ける指導原理は、公益優先の私益抑制即ち經濟機構の再編成である。だが吾人に言はすれば、所謂ゴに依つて主張されたる新體制は洵に時宜に適したものであり、是非之を効果あらしめたい、と思ふものであるが、それと同時に經濟新體制と竝べて、國民の新生活體制樹立をも高調して貰ひたいのだ。

どうも日本の政治家は、大切な指導原理を說く場合にも、兎角上層部の定め易き部分に力瘤ゲ入れ、下層部の基礎工事に徹底を缺くの嫌ひがある。例へば今度の新體制にしても、高度國防國家の建設には、國民一致協同態の新體制樹立の急務なること、何人も異論のない處ではあるが、是れが實行の段に至ると、先づ上部よりで、下部の施設に力弱きの嫌ひあるを遺憾とする。

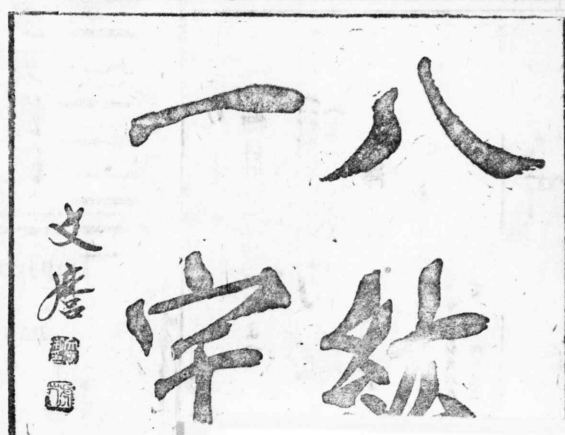
吾人の經驗からすれば、米は有れば有るに餘りにも舊式である。

ことは外國で生活する吾人から見るなら、

を拂ふ

心新體制の實施に効果を擧ぐべく、最大の努力を拂はれんことを吾人は新體制第一次の新年劈頭に於て、遠く伯國の天地から祖國の内閣諸卿に對し、切に懇願するものである。

【カットは近衛首相の書】



詔書

大義ヲ八紘ニ宣揚シ坤輿ヲ一宇タラシムルハ實ニ皇祖皇宗ノ大訓ニシテ朕ガ夙夜眷々措カザル所ナリ而シテ今ヤ世局ハ其ノ騷亂底止スル所ヲ知ラズ人類ノ蒙ルベキ禍患亦將ニ測ルベカラザルモノアラントス朕ハ禍亂ノ戡定平和ノ克復ノ一日モ速ナランコトニ軫念極メテ切ナリ乃チ政府ニ命ジテ帝國ト其ノ意圖ヲ同ジクスル獨伊兩國トノ提携協力ヲ議セシメ玆ニ三國間ニ於ケル條約ノ成立ヲ見タルハ朕ノ深ク懌ブ所ナリ

惟フニ萬邦ヲシテ各ミ其ノ所ヲ得シメ兆民ヲシテ悉ク其ノ堵ニ安ンゼシムルハ曩古ノ大業ニシテ前途甚ダ遼遠ナリ爾臣民益ミ國體ノ觀念ヲ明徵ニシ深ク謀リ遠ク慮リ協心戮力非常ノ時局ヲ克服シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼セヨ

御名御璽

昭和十五年九月二十七日

各國務大臣副署

一億一心への道

特命全權大使 石射猪太郎

今日、日本では政府も民間も言論機關も一億一心を强調し或は論議して居る。日本が直面して居る國步難を乘越えるには一億國民が一心となつて足並を揃へて行進しなければならぬと云ふのである。所謂新體制なるものも一億一心國民が其分に應じて大政を奉翼する機構の組成を意味するのである。此處言には國民何人も異論のある筈が無い。然し率然として一億一心と云つても其根柢からすると單に形容詞かゝ口頭禪としか響かない恐れがある。そんな筈の一億一心では無いのである。眞劍なる一億一心が要求されて居るのである。然らば一億一心を實現するには國民は如何なる道を踏むべきであるかと云ふに、それは見る人の角度に依つて說く所必ずしも一致しない憾がある。玆には私の見解を述べ度い。

卑見によれば一億一心への道は遠きにあらず。國民の銘々が公益優先の志を把持して大政翼賛に向つて其分を盡すと云ふ事は忠良なる臣民となると云ふ事である。忠良なる臣民となるには先以て國民各自が其身を修めてかゝらねばならないのである。日に政治を論じ、外交を談じ、防空演習の時灯火管制し、出征軍隊の壯兵を振つて發迎し、或は大いに國防献金をしても家庭爭議を起したり、友人を隔れたり、他人の缺點に乘じて一身の利益を謀つたりしたのでは忠良なる臣民とは決して云へないのである。支那の先哲は修身齊家治國平天下の道を說いて居る中に修身齊家が根本だとして居る。支那聖賢の言必しも凡てが今日の時代には當嵌らないが、少くとも修身齊家根本論は今日に於てもピタリと適合する。殊に國步の難關に直面する日本には益々以て其然る事を私は感ずるのである。一身が修まり一家が円滿に行けばそれ以上の社會道德も國民的道德も特に之を强調し論議する必要もなく自然に生れ自然に肥滿する順序である。順序を追はない一億一心は精神が置入らず途に形だけに終つてしまうであろう形容詞や口頭禪に陶醉してしまうであろう。今日の日本は之ではならないのである。かるが故に支那先哲の言を日本國民は謹聽に身にしめて考ふる必要があると思ふのである。然らば即ち修身齊家の規準如何、治國平天下の道を何れに求むべきであるか。敢て之を遠くに求める必要は無い。明治天皇の下し給へる教育勅語に彰々と示されて居るのである。國民は教育勅語に親炙せるの餘り良多くも形式化したのではあるまいか。教育勅語は學校の式日にのみ捧讀すべきでは無い。國民日常の座右銘として實踐につとむべき修身律である。平素國民が此修身律の實踐に忠實であるならば公益優先一億一心を今更叫ばれなくても好い筈である。

今更教育勅語の全文を玆に引く迄も無い。我々は暗誦して居るのだ。勅語中の何れの節句でも斷片的に國に浮べて見るがよい。個人として家庭人として、社會人として國民として我々が守るべき修身律が一點のゆるぎもなく明示されて居る。而して明治天皇は「是ノ如キハ朕ガ忠良ナル臣民」と仰せられて居るのである。國民は教育勅語に親炙せるの餘り良多くも形式化したのではあるまいか。教育勅語は學校の式日にのみ捧讀すべきでは無い。國民日常の座右銘として實踐につとむべき修身律である。平素國民が此修身律の實踐に忠實であるならば公益優先一億一心を今更叫ばれなくても好い筈である。

が道は遠きにあらずと云ふ所以である。

優先一億一心は五千年前明治天皇あり夙に差し示し給へる所である。それは平素から心掛くべき目標であつて敢て戰時又は非常時に限つた理想ではないのである。日本國民たるもの三省すべきである。

ブラジルは遠く日本を離れ人情風俗も社會情態も大いに異るものがある。玆に居住する我同胞の修身律も如何、祖國の新體制一億一心に協力するの道如何、明治天皇は「之ヲ中外ニ施シテ悖ラズ」と强調し給へる所である。

予は道學者では無い。又不德の身を以て人に道を說く柄でも無いのである。只修身の道程にある身として聊か時勢に感じ自戒を迎年の辭に託したのである。

（寫眞は石射大使）

年頭所感

總領事代理 [illegible]

一年の計は元旦に在りと云ふが白狀すれば私自身は元旦に一年の計畫を樹てる美習慣を持たず右の諺も現實に元旦毎に其年一ケ年の計畫を考へることなく無方針、無計畫を警めたものと解してゐる。

改つて年頭の所感を求められて見ても別に平素の思索の連續に過ぎぬが、古代羅馬曆一月を表象してゐるヤヌスの樣に前と後に視界を擴げ思念を張ることは年頭のみならず平素自分の實踐せんと努めてゐる所である。

今過ぎし一年を顧み、昭和を顧み大正を顧み明治を顧み更に二千六百年を顧み時、現代人として荷ふ我等の任と榮譽とを痛感するが、二千六百年をがつちりと踏みしめて邁進するのである。

更に加ふるの一年の第一歩を踏み出すに方つて前方を眺むるの時、勇氣凜々として民族傳來の血潮は血管に漲り胸の緒琴は明朗マーチを奏づるのを感する。

在伯同胞二十萬を算し其歷史も相當の歲月を有する今日、各方面に亘つて母國依存の惰性を脫却する に進みたいと思ふ。

我等の社會は之に手での心構へを持し、總ゆる社會事業に對し捕はれず切の經緯に在留同之が盛立て胞全般の滅私奉に依つて實現する ことを切望に堪へぬ。之こそ海外在留者として大政翼賛、皇謨扶翼を實現する所以と信ずるのである。

（寫眞は成都領事）

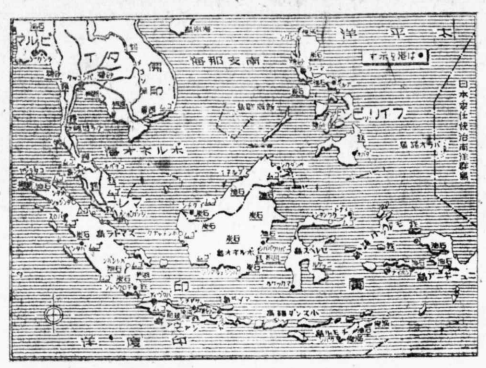
遙拜

昭和十六年元旦の朝は靜かに明け初めました。

江上遠く軍艦〇〇から轟轟とラッパの音が流れて來ます。私達は日出づる東の方に向つて捧げ銃をし、ひたすらの遙拜をいたしました

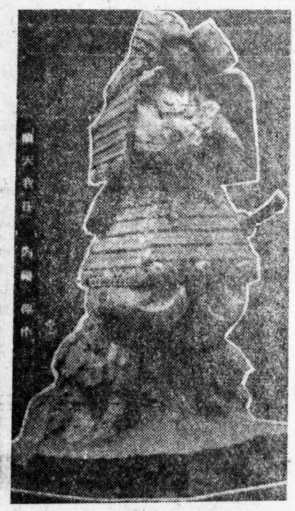
我が南進政策と南太平洋の大資源

無言の睨み、我海軍力



日本の東亞共榮圏は日露支から佛領インド支那、タイ、マレー半島、ラン領東インド、フィリッピン、ビルマ、インド、豪洲におよぶものであるとして近衛の米誌が上掲の如き地圖をもつて南洋地方の資源、戰略的地勢を解說してるその記事ははじめからわが平和的眞意を誤解し日本がこの地方に武力的進出を行ふものと誤ひて盲りに挑戰的言辭を弄してゐることに對して深い注意を拂はねばならぬ、以下はその解說記事の大要である

◇……◇



順天我往

フランスおよびオランダ本國が歐洲において、ドイツに占領され英本國また危殆に瀕するや日本は南進政策を明らかにしたが、そのいふところの東亞共榮圏が實現するとなると、米國の經濟には非常な狂ひが生ずることになる、たとへば米國においてタイヤ、電氣具のフイラメント、茶、チーク材、錫、キニーネの如き物資が缺乏を來し何らか代用品を求めざるを得なくなるのだ、然も米國が日本に對して屑鐵、鋼鐵、石油等の禁輸を實施するならば日本は石油鐵等をこの地方に求めるべく必死の手段を講ずることはいよいよ明かである

大豐富な地方には

日本の欲する物資が豐富にある、まるで造物主が不注意にも資源の入つたかごをアジヤ大陸に撒くべきを間違つて南太平洋上に撒きちらしたといふ好だ、世界のゴムの需要の九十四%（他の七十五%（特にマレーに多い）極東の他部分からの總產額よりも多い）石油を筆頭とし砂糖、茶、珈琲米、煙草、ココア、諸種の纖維、家具材を產し、マニラ麻ジヤワの規那は世界中での特產といつていいし、また全地域を通じて金、石炭、鐵、亞鉛が埋藏されてをり、ビンタン島（シンガポール對岸ラン領）にはボーキサイト、タヴオイ（ビルマ）にはタングステン、マレー、ジヤワ、フイリッピンにはマンガン鑛がある

この

地方の戰略問題はかやうな富源の防衛と關聯するものでそれはシンガポールを本據として英國およびオランダの極東兵力をもつてし、さらに英國の地中海艦隊の一部をもこの防衛に當らせることになつてゐるのだ、しかし歐洲戰の結果は英國をして極東の海軍を歐洲に廻すを余儀なくさせたため本來の計畫を壞してしまつた、そして今や日本が如何に南進を行ふかといふ問題が起つて來たのである

スマトラ島西海岸パダン市エンマハーフエン港の外側になる美しい海岸

かう

考へてくるとボルネオ、セレベスなどに對する攻擊は容易である、ラン印側でも明からかゝる攻擊を豫期してボルネオの石油港には機雷を敷設し砲臺を配置しタラカン、バリクパパン附近の油田にも銃砲を備へ、その他ボルネオ島内には一年前から飛行場が祕密に建設されつゝある、ボルネオ精油所はスマトラのパレンバンに移轉した、しかしもしボルネオを日本が占領するならば、日本軍は燃料に事缺かぬことになり

第一

にこれには海軍が主となる、山岳、ジヤングル、沼澤地、急流大雨、マラリヤ蚊等の障碍によつて陸軍による進入は不可能といつていいからだ、日本海軍の南進基地は台灣および其の占據下の海南島にあるとして、それを有効ならしめるためには、まづ要國の基地香港を抹殺せねばならない、香港は今や日本の海陸軍の重圍中にあり、このため英國の南洋防衛計畫も昨年夏頃破され、香港は軍に出來るだけ抵抗して面目だけは立てるといふことになつた

日本の第二段の策

は佛印およびタイ國の中立化にある、佛印はすでに經濟的にまた軍事的に日本の掌中に入り、タイ國もまた懷柔されようとしてゐる、フイリッピンに對しては一九四六年の獨立以前に攻略を開始せんとしすでにミンダナオ島には非武裝民と安價な物產をもつて侵略をはじめてゐる、戰爭の場合マニラにある米の小艦隊の如きは潛水艦の包圍によつて釘附けにされるだらう、さらにまた日本は南洋委任統治の諸島に根據地を持つてゐる

考

へてくるとボルネオ、セレベスなどに對する攻擊は容易である、ラン印側でも明からかゝる攻擊を豫期してボルネオの石油港には機雷を敷設し砲臺を配置しタラカン、バリクパパン附近の油田にも銃砲を備へ、その他ボルネオ島内には一年前から飛行場が祕密に建設されつゝある、ボルネオ精油所はスマトラのパレンバンに移轉した、しかしもしボルネオを日本が占領するならば、日本軍は燃料に事缺かぬことになり

ジヤワ、スマトラさらにシンガポール攻略の用意が出來るわけだ、ただしスマトラ、ジヤワの攻略はさう容易なものではない

スラ

バヤの海軍基地はマヅラ島を前衛として機雷をもつて護られてゐる、オランダ東洋艦隊は約百隻の艦艇と十八隻以上の潛水艦とから成り、スラバヤを基地としてゐる、日本軍の上陸を阻止するため空軍三百六十機とバンドンに司令部をおく八万の陸軍がある

最後

にシンガポールだがこれこそは北海の一リゴランド、地中海のジブラルタル、ハワイの眞珠灣と並んで世界の四つの無敵要塞に數へられるものだ、歐洲戰爭の終まる前

シンガポールの防備は巡洋艦三隻、航空母艦一隻、驅逐艦九隻、潛水艦十五隻その他雜艦若干から成り英國支那艦隊（巡洋艦四隻）や濠洲およびニユージーランド艦隊、なほ聯合によつて英地中海艦隊がこれを應援するのである

その

防備砲は陽力であり封鎖も遠距離からでなくては出來ないからこの攻略は至難だ、しかし日本が他の南洋諸島の攻略に成功したあかつきは或ひはシンガポールの存在を無視して多年の計畫に基づいてタイ國領のクラ地峽十七哩の運河開鑿によりインド洋方面との航路を開くことも考へられるのである

謹賀新年
日の出製麵所
伊波興德
サントス市ベードロ・アメリコ街五一一七電話

謹賀新年
星製肉所
仲村渠廣郎
本店 サントス市ベードロ・アメリコ街一四五 電話 四九〇六
支店 サントス市アマドール・ブエーノ街六五 電話 三九四八

謹賀新年
御國土產物
バザール日本
大野寶太郎
サントス市メリカード前ブラッサ イグアテミ・マルチンス六九番 電話 六三三二番

謹賀新年
料亭
あけぼの
島根縣人 鐵森安平
サントス市ブラッサ・サイグアテミ・マルチンス八六 電話二八五〇

謹賀新年
御料理
光乃家
道下光子
サントス市アベニーダ カンポス・サーレス二番

謹賀新年
カンポス・ド・ジヨルドン
療友會
郵函 三八
電話 三二

謹賀新年
潮ホテル
前田吉太郎
サントス市ブラス・クーバ街二三九番 電話 五一八一

謹賀新年
山田藥局
山田一雄
山田耕司
モヂダスクルーゼス市 メルカード傍

BAR PADARIA E CONFEITARIA
SOL NASCENTE
R. CARVALHO DE MENDONÇA No. 428
TEL. 6200 SANTOS
謹賀新年
當店はパン並にソルベッテ和洋菓子、ビスコイト等を製造致して居ります
卸、小賣、又內外の雜貨品一切と學校用具一切を販賣致して居ります
店主 野中正

謹賀新年
琉球レコード、蓄音機直輸入販賣
豆腐、コンニヤク製造元
新田繁德
サントス市パラー街九六
R. Para, No. 96 Santos

謹賀新年
サントス日本人會

謹賀新年
三笠旅館
サントス市

謹賀新年
聯邦農務省
聖州農務省御用
本多果樹園
セントラル線モヂ
郵函 三四

CASA AOKI
謹賀新年
雜貨商
青木商店
青木メ吉
レヂストロ市街地

明けまして
御目出度ふ御座居ます
（料亭）浪乃家
澤井千代子
サントス市ブラッサ イグアテミ・マルチンス六八
電話 六三三二

謹賀新年
蔵年中は格別の御引立に預り厚く御禮申上げ候
本年も相變らず倍蔵の御引立を御願申し上げ候
海產物賣買人 長濱之政
外交員 長濱文勇
同 古堅宗治
番地 Av. Washington Luiz, 219 Santos
論畫 R. Pedro Antero 2 Santos

Importador de Exportador de peixe
Aduma Sameshima
BANCA No 5 - MERCADO SANTOS
謹賀新年
鮫島魚問屋
鮫島東
サントス市メルカード バンカ五番

N. DOI & CIA.
農產物仲買
アンタルチカ代理店
スタンダード代理店
本店 サントス市アマドール・ブエーノ一三二—一三四 電話 六一八一一 郵函 三一一
職員一同
支店 ジユキア線ビグア驛
職員一同
支店 ジユキア線レヂストロ植民地
職員一同

謹賀新年
家具製造販賣
建築請負
三吉文人
住宅　サントス市セナドル・フェーロ街二一〇　電話三三五四
工場　ドトール・カルバリーヨ　メンドンサ街九六

Sanehico Mikai
Fornecedor de peixe
DEPOSITO
Rua Commendador martins, 149
謹賀新年
内外海産物取扱商
三界實彦
外交員
仙臺一夫
岡本貞一
住所　サントス市アベニーダ・ワシントン・ルイス街二二四番
郵函四一七

謹賀新年
鮮魚商
中村正治
サントス市メルカード　パラッカ二二番

LAVANDERIA
E
ENGOMMADERIA
NIPPONIGA
謹賀新年
上原直義
サントス市プラス　クーバス街一八番
電話　五三二〇番

謹賀新年
雑貨商
大鹿商店
大鹿慶太郎
レヂストロ市街地

謹賀新年
廣岡商店
廣岡金作
レヂストロ市街地
郵函一五　電話一四

CASA IDERIBA
M. IDERIBA
Caixa, 44 REGISTRO
謹賀新年
出利葉商店
レヂストロ市街地

謹賀新年
雑貨商
樺田商店
セッテバラス市街地

謹賀新年
内外雑貨商
松實商店
松實義直
セッテバラス市街地

H. Watanabe & Irmão
C. P. 3 - REGISTRO Santos-Juquia
謹賀新年
リベイラ特産　マンジウバ鹽干　卸販賣
内外雑貨　農産物仲買
渡邊兄弟商會
本店　レヂストロ
支店　ジユキア驛
ジユキア間　サンパウロ間
運送開始

賀正
絶大な希望と光輝に
満ちた新春を祝す
濟美學會
少年團
顧問的尾眞一郎
名護世恒
全　イルマンアッシス
指導員　コッセソン君子
全　ドーナ・マチルデ
團員一同
ノロ線アヴイ驛イビランガ區
電話　一二番（アヴイ）

賀正
美味しい食事
御客様に親切で
評判の良い純日本式
食堂兼旅館、靜かな室
すし
かまぼこ
うどん
食道樂
バ延長線ヴエラクルース町
竹内たかし

謹賀新年
雑貨商並ビンガ製造
太田留吉商店
ジユキヤ線バラーダ一二五粁

謹賀新年
南米銀行バウルー支店
古川陽一
郵函　一三〇番
電話　五二一番

謹賀新年
南米銀行リンス支店
田川義隆
電話　一九二番
郵函　二五六番

賀正
下田旅館
下田福松
ヴエラクルース町

賀正
源河幸吉
マツトグロッソ州カンポグランデ市

謹賀新年
精米
珈琲工場
源河幸助
マツトグロッソ州カンポグランデ市

謹賀新年

時代の要求する高級にして藝術味豊なる
斷然技術界の王座を占む
皆様からの人氣の焦點は
むいとぽん寫眞館撮影部
他の追蹤を許さぬ弊店は寫眞機類、フイルム、印畫紙、ガクブチ類各種、イツモ豊富で安價な
むいとぽん寫眞材料販賣部
弊店のモットーはアマドレスの燒付、現像は迅速丁寧、特に販賣部御愛用者にはフイルム現像・無料です。一日の思出に娯樂の皆様へは寫眞機の貸付も致しますからムイトポンです
寫眞見習生　數名入用　但し十歳未滿の青年、詳細面談要

HOTEL FUJITAYA
Tel 222 Caixa, 1
BAURU' - N. O. B.
賀正
藤田屋旅館
土田榮四郎
バウルー驛前上
ルア・モンシニオル・クラル（ポウカツ行國道）
郵函　一番
電話　二二二番

謹賀新年
芳賀仁吉
バウルー市

謹賀新年
サンパウロ生命保險會社
ノロエステ代理人
增山房吉
リンス市ペドロ・デ・トレド街二九五番地

賀正
諸農具製作所
山下鐵工所
山下藤次
ノロエステ線　プロミツソン町

謹賀新年
南米銀行プロミツソン支店
北原九州太郎
郵函　三三番
電話　三三番

謹賀新年
キビ〳〵した鮮魚
味のよいかまぼこ
鮮魚商　神崎春吉
リンス市スイルガマ街（青年會館向イ）

謹賀新年
近代的明朗なノロ線
唯一の完備せる
キングホテル
中熊一雄
リンス市オラボ・ピラッキ街
郵函　二〇三

謹賀新年
ノロエステ變更線グワララベス驛
フロレスタ植民會
顧問　Snr. João Piringuynho
會長　小原光次
副會長　井出源八
會計　滿田圓德
外交部長　高橋質雄
學務部長　内野文六
衛生部長　上野隆
交通部長　藤原文夫
會員　同

謹賀新年
ノロエステ變更線グワララベス驛
フロレスタ青年會
會長　井手愿
副會長　林春彦
會計　上野秀志
運動部長　滿田善
野球部　内野保
陸上競技　葉山稔
會員　同
相談役　Dr. Adalberto Ferreira Damião
同上　小原光次
同上　高橋質雄

EMPRESA CONSTRUCTORA UNIVERSAL LTDA.
謹賀新年
今回當會社リンス地方總代理人アルセウ・デ・オリベーラ氏の後を繼ぎ、私共當地方總代人として、業務擔任從前通り營業仕り候間今後一層の御引立と御用命の程懇願奉ります
ウニヴエルサール建築債券會社
リンス地方總代理人
事務所　リンス市オラボ・ピラッキ街三九三番
郵函　二七九番
主任　前田藤兵衛
前田利和
田中武雄
日野貞雄
矢島四郎
飯塚五十夫
ジョン・デ・アキノ

謹賀新年
内外製菓卸
祝・引物其他一切の御注文に應ず
海山堂製菓工場
石切山角一
バウルー市・郵函一番　電話七〇八番

謹賀新年
バウルー市
雑貨荒物商　バール　廣瀬良一
バール　下田富造
バール　先原茂
バール　志波時太
バステラリヤ　原田浩三
ソルベタリヤ　植田泰三
雑貨荒物商　岸田商店
雑貨荒物商　勝又晴義
東洋理髪店　平田重藏

あけまして
お目出度う御座います
陳者今般左記の場所で靴製造販賣開業致しました。多年の經驗を獨特の腕に依り仕上げました靴は＝優美＝耐久低廉＝然かも最後迄型のクヅレない、ハキ心地よい靴は、必ず皆様の御滿足を得る事と信じます。何卒御引立續々御下命の程懇願奉ります
バウルー市ルア・アラウージョ・レイチ二ノ二五番（ノロエステ街道）
池津製靴店
各位

謹賀新年
ツバン藥店
大城清幸
島袋清成
バ延長線ツバン町郵函A

謹賀新年
内外雑貨
農産物仲買
星野商店
星野熊彦
吉田勝夫
バ延長線ツバン町

正賀
久塲川清市
バ延長線ツバン町

正賀
本松健造
バ延長線ツバン町

正賀
バールフルネリア
大岡甚松
バ延長線ツバン町

謹賀新年
雑貨食料品
南商店
ポンペイア驛裏通

正賀
吉山市五郎
ポンペイア市

正賀
青木權次郎
ポンペイア市

正賀
バールホテル
高村
ポンペイア市バウルー街
サンパウロ銀行前

正賀
バール・アベニーダ
木藤武盛
ポンペイア市驛前

謹賀新年
金野醫院
ドットール金野寅太
マリリア市
電話二二四一番
郵函三六一番

謹賀新年
バザール・道面
道面定七
バ延長線ツバン町
（舊須賀商店跡）

謹賀新年
バールジャポネース
尾崎幸夫
バ延長線オリエンテ町
郵函一三

謹賀新年
バール齋藤
齋藤清六
バ延長線オリエンテ町

謹賀新年
農産物仲買商
西畑兄弟商會
ポンペイア市
アベニーダ・パウリスタ街五番

謹賀新年
内外雑貨、小間物
玩具、學用品
本田商店
親切大勉強
本年度も相變らず御引立の程願上げます
ポンペイア市本通一五

Casa Honda

謹賀新年
岩田洋服店
岩田榮吉
バ延長線ツバン町

謹賀新年
開業ニツキ宜シク御引立ノ程
御願申上マス
バールビリヤール
東洋
出垣利雄
バ延長線ツバン町
郵函A

謹賀新年
テッサコ石油會社代理店
ホルミシーダモラエス特約店
ポトランチンセメント
生石灰會社代理店
原田商店
バ延長線ツバン町

謹賀新年
農産物仲買
運搬業
中田吉之助
ポンペイア市
リベロン・ブレット街六四

謹賀新年
バール並自動車業
バール井上
井上正春
バ延長線ポンペイア驛カンパンテ町

謹賀新年
値段が安くて
目新らしい
貳釬店及び農藥品
販賣、農産物仲買
上田商店
上田品太郎
バ延長線ツバン町タモヨ街

謹賀新年
吉開洋服店（ヨシガイ）
吉開愛吉
バ延長線ツバン町郵函一五〇

正賀
須賀音次郎
バ延長線ツバン町

謹賀新年
バール原田
原田桝藏
ポンペイア市本通り
郵函二四

謹賀新年
バールソルベッタリア
木原兄弟商店
ポンペイア市
郵函二四

謹賀新年
北村旅館
仲買業
北村利隆
ポンペイア市

謹賀新年
賣耕地
△位置＝パウリスタ線ツバン町ヨリ二粁ノ地點ヨリ始マリ、バストス道路ニ沿イ毎日數拾臺ノジヤルジネイラガ、バストス、クワタ、ピトリヤ、カナアン、ゾーナデマツタ行キガ往復シテ居リマス
△地味＝パウダーリヨ、フヒゲーラ、ジヤンガダ地帶ニテ珈琲、米、棉花、バタチンニヤ、セボーラ等ニ適當地
△面積＝壹百域
△珈琲＝一萬二千本、拾年物一萬一千本　四年物九千本、三年物全部新コーヒハ植付制限後ノ物ナル共許可濟ノ物ナリ
△バスト＝二十五アルゲール、二千五百粁平方ノ煉瓦造ノテレーロ、一アルケールノ果樹園、九年物　住宅煉瓦造七軒、牛小屋其外煉瓦工場モ御相談次第デ付マス
△價格ハ二百六拾コントスナレ共支拂方法ハ御相談ニ應ジマス
現在當耕地内ニ日本人入植者ガ八家族居リマスカラ此ノ者ガ証明シマス
地主　アデレーモ・ピーバ
ツバン町郵函A
右田土地事務所

謹賀新年
農産物仲買
棉花高價買入
河野商會
河野幸喜
ポンペイア市クラビンニヨ街
郵函一八七

MACHINA BANDEIRANTE
謹賀新年
精棉、精米、珈琲精撰
合資會社
宮崎商會
バウリスタ線ポンペイア市
郵函七九番

謹賀新年
ポンペイア市
商工會

金物商　大田商店
内外雑貨商　福田商店
同　菅山支店
同　井上兄弟商會
同　河野・横井商店
バザール　小田敬一
呉服小間物商　藤岡商店
雑穀仲買商　岡田・濱崎商會
同　宮崎棉花會社
シブロレー代理店　花田喜一
製菓業　花田繁雄
家具製造業　清水唯雄
珈琲精粉工場　富田市次
シンガーミシン代理店　森時雄
藥局　本山藥店
月刊雜誌、學用文具品　ハトヤ商店
土地周旋業　田邊敬秀

謹賀新年
Lelio Piza & Irmãos
Comprem terras, Datas e chacaras
レエリオ ピイザ 土地會社 年賦拂無利子
代理人　小川武夫
郵函77　ツバン町　バ延長線

正賀
ポンペイア日伯青年會

謹賀新年
島田寫眞館
ポンペイア市教會前

謹賀新年
速成科　參ケ月
普通科　六ケ月
特別科　一ケ年
黑木裁縫女學院
ポンペイア市
リベロン・ブレット街四八

謹賀新年

棉花仲買
長谷川大家共營

マリリア市
アルコベルデ街一二〇
電話四二八三

謹賀新年

内外雜貨
食料品
久我商店
久我哲夫

バ延長線マリリア驛
カーザ・グランデ町　郵函一五〇

謹賀新年

高級齒科治療一般
X光線科
寶齒科醫院
寶臣衛

マリリア市キンゼ・デ・ノーベンブロ街

謹賀新年

末松緑

マリリア市

謹賀新年

パステラリア石井
石井　暹

マリリア市アベニーダ・デース・デ・ノーベンブロ街六九〇
電話　五〇七

謹賀新年

バール・ソルベタリア
泉田利政
山田正

マリリア市
ブルデンテモラエス街一九六番

HOTEL S. BENTO
Avenida 10 de Novembro. 826
MARILIA
O Hotel preferido pela distinta Colonia Japonesa
Rolando Talci

謹賀新年

日本人諸彦の御愛顧に預り
今年も宜敷御願申上げます
有難く存じます
ホテル・サンベント

マリリア市
デース・デ・ノーベンブロ街八二六

謹賀新年

サンパウロ藥局
紫垣春雄

マリリア市
サンルイス街九六六番
電話　二一四四番

賀正

梅田友次郎

マリリア市サンルイス街
郵函二五三　電話一二六

謹賀新年

バザール・東京
岡本專太郎

マリリア市
サンルイス街七八九番

Marcenaria e Carpintaria
S. Hirata

謹賀新年

建築請負業
平田家具製造所

マリリア市
サンルイス街一二六四

Casa Miyake

謹賀新年

内外雜貨、食料品
小間物類一切
農産物仲買
三宅商店

マリリア市サンルイス街一二〇
郵函一〇四A電話一一二八

謹賀新年

今年も亦貴女の髪の美は
キング椿油で
キング化粧品製造所
共營　近藤孝一
大井茂一

マリリア市アルコベルデ街三七二

謹賀新年

和洋小間物各種
バザール・キング
北本
坂本共營

マリリア市
サンルイス街一〇四五番

謹賀新年

玩具
神佛壇具
家具類、製造並販賣
尾川工場
外從業員一同

マリリア市サンカーロス街六八一
ポンフイン街角

謹賀新年

鋸、刄物
農具
齋藤鐵工場
齋藤清太郎
齋藤清之助
岡部新之助
齋藤清一
齋藤清作
齋藤清治

マリリア市バエスレーメ街二三四
郵函　E

謹賀新年

カーザ・アマゾーナス
山下商店

マリリア市サンルイス街
郵函二七八　電話八二
支店　内外雜貨
ブエノスアイレス

謹賀新年

上田留吉

マリリア市クワトロ・デ・アブリール街　五八三番
電話　二九八番

賀正

調劑確實、迅速、親切
内外藥品化粧品類一切
マリリエンセ藥局
店主　藥劑師　岡川秀春

マリリア市サン・ルイス通り一〇六九番　電話四八九番

謹賀新年

迅速調製
皆樣の御氣に召す
三好洋服店
三好政市

マリリア市ブルデンテ・モラエス街一八三
郵函　E（書籍會館向ひ）

謹賀新年

マリリア産業組合
信用部
購買部
醫療部

マリリア市サンルイス街一三〇九
電話　五二〇五

謹賀新年

オフシーナ角田
角田利秋

マリリア市デース・デ・ノーベンブロ街一五八一番

謹賀新年

珈琲、棉花、米賣買及農場
精米、精珈工場及倉庫
日本品輸入、中將湯伯國代理店
瀨木商會

マリリア市カストロ・アルベス街一五〇
郵函一四五　電話八五
聖市倉庫　モンセニヨルアナクレト街七八
電話三一一六三一

謹賀新年

C. A. I. C.

Companhia de Agricultura, Imigraçao e Colonização
パウリスタ鐵道會社傍系事業
本部事務所
聖市リベロ・バダロ街三九番一階

農業者諸賢に告ぐ!!

パウリスタ鐵道姉妹會社カ・イ・ケ・土地會社は第六區分讓地の賣出しを開始致しました。報ひられぬ勞力や、償はれぬ消費地帶より脱出して肥沃なる新地帶C. A. I. C.の土地を求められよ・分讓中のポストン・キヤトリは地權絶對確實。總面積……14 645アルケールス　内既にゾーナダマツタの肥沃な11 145アルケールス賣却濟み

條件

類例なき安價を以て提供・五ケ年賦無利子・支拂ひ法…初年度全額の25%　次年度より15%宛五ケ年賦拂ひ・交通至便・毎日マリリア市より午前拾時發アダマンチーナ行乘合バスの便が有ります・

此の度賣出せる第六區分讓地は、來る一九四一年三月三十日限り上記の條件とし、以後は拂込金を値上げ致します・何卒此の機を逸せず是非一度御視察あれ・

尙詳細なる御問合せは下記へ

賣却讓渡主任　マーリオ F. オリヴエロ

MARIO. F. OLIVERO S/C
CONCESSIONARIOS DA
C. A. I. C.
RUA 9 DE JULHO 1493 MARILIA

ノロエスラ方面代理人
原寛治
リンス市

日本人部主任
遠藤伊一
Rua 9 de Julho 1493 Marilia

大郎良正
ドアルチーナ町

南喜三郎
マリリア市

Haruichi Okamoto & Cia.
MARILIA

謹賀新年

内外雜貨卸小賣
棉花買入
岡本春一商會

マリリア市
郵函一四五
電記　二二五一

謹賀新年

雜貨、小間物
日本品各種
阿鷹商店

マリリア市パロン・デ・バナナール街一二
電話　二二五　郵函　二五九

謹賀新年

珈琲、棉花、雜穀仲買
内外雜貨、卸小賣
マクファデン棉花會社代理店
沖商會

マリリア市
郵函　四九
電話二一八一

『羽衣』實說

哀れ美しき天女の運命

G・N生

あれ天人は羽衣の舞ひをまひ〳〵羽ばたきゆく風に袂がひら〳〵と

小學校の教科書に、少年少女の學藝會に、優雅な謠曲『羽衣』の實說を公にすることは、何だか美しい夢を破るやうな氣持もするが、實說を知れば、成程とうなづける點もあり、又妖しくも美しく美しい天女の苦衷をも察知することが出來るであらう。

歌ひやされる「羽衣」の實說は、何百年も昔のことである。景色のよい三保の松原も、交通不便のその頃は、現在ほど繁昌しなかつたに違ひない。春日遲々として、松の木洩れ日に陽炎ゆらぐ砂原を、漁師浦太郎は、僅ばかりの漁具を肩に、通りかかつた――が――つと立止まつた。

彼は、世に稀に美くしい布が行く手の松の小枝に、かかつてゐるのを見たからである。不思議に思ひながらも、漁具を砂の上におろして、その布を取りはづした。その時松の陰から、一人の女が出て來たそして彼の前に跪いて、その着物を返してくれと、哀願するのであつた。勿論言葉は解らない。

浦太郎はびつくりした。女の美くしさ……雪のやうに白い肌を丸出しにして、恥かしさに身もだへる女を「これが話しに聞く天女かも知れない」と思つた。そして、自分の手にある着物をひろげて眺めたその言葉で云へば、銀絲の樣で、且つて見たこともない美くしい色をしてゐた。彼はこれが羽衣かと思つた。

――この實景は、白砂青松と、遠大な駿河灣を背景にしたものだけに、厳粛で見るものの眼より數等優雅なものであつた。浦太郎は女に、着物を着させて、我が家へと連れ歸つた。

――◆――

この話しが村から町へ、町から東海道を上下する旅人の耳に入り「三保の松原へ、天人が降りた」の聲は、全國にひろまつた。

女はオランダ人か、ポルトガル人の娘であるとの說が有力で、遠く航海して來た時、不幸難船して如何なる經路を辿つたものか、三保の海岸へ流れ着いて、濡れた着物を乾してゐる所へ、浦太郎が偶然通りかかつたものである。

羽衣と間違へられた着物は船が難破して、經驗を感じた時に、死出の晴衣と身につけてゐたものであらう、何百年もの昔、白人なんて夢にも見たことのない人達が異人種の言葉も解らない、美くしい女や着物を見て、天人だ、羽衣だ、と思つたのも、誠に無理からぬことである。

其後他一人、息子一人の家庭に嫁ぎ、何人かの子供を生み、子孫は現在でも、三保村に住んで居る。何代も經てゐるが、その家の血統を引く者は、いまでも鼻だけは高い。

現在の羽衣の松は、實物が枯れ、二代目も枯れて、三代目である。

段の努力が肝要である。

◇金樂團氏―旺盛な作歌力と言ひ度いが、亂作の傾きがある。千篇一律では何時迄も上達は望めない。進め、止れ、然して考へよ、でなければならぬ。作ると同時に先進の作品を味讀され度い事を勸める。

◇農村氏―どうかすると、全全脈の通つてない作がある。一首の醇化と言ふ事が最も重要である。斯うした意味から言つて掲載分も危くない事はないが……

◇金鐘兒氏―余り感心しなかつた。矢張り感動の滲ないと一寸した思ひ付き等を詠む事は無理ではあるまいか。

（妄言多謝、武本生）

―○―

◇謹賀新年

昭和十六年の新春を迎へ、歌壇も清新の意氣衝天剛先にスタートし度いものである。

◇昨年の歌壇、と言つても小生が見せて頂くようになつた七月七日の歌壇以降の事であるが、柄にも無い選後評など書き書きして、時には途方無い的はづれの雜言を放ち、諸氏の顰蹙を買つた事もしばしばであつたと思ふと、今更汗顏の至りではある。

◇しかし紙幅に合はぬ寸行の批評ながら、時に背筆にあたらぬとも限らないので、今年も相變らず續行し度いと考へてゐる。時に正鵠を失した御合は諸氏の御并正を願ふ次第である。

◇昨年の七月七日以降本號所載までの歌壇に活躍したへは百十二名の名を數へた。これらの人々の作に爲つたものでか生の擧中に集まつた短歌數は三千七十三首、この内より出で、時報歌壇を構成して來た短歌數は六百三十八首、約五分の一であつた。

◇殘餘の五分の四は、悉く保留の數に入つたわけであつて言へばずいぶん嚴選と言へるかも知れない。

◇これも紙幅やその他種々の都合でやむを得ない事であつて、作者諸氏には氣の毒と思ひながら、採れば充分に採る價値のある歌をも、餘儀なく保留した事もあつた。

◇だが、最低一人一首は掲載し度いと努力して來たあつたが、二、三の人の作はどうにも手がつけられず、そのまゝ看過したものも無いではない。

◇昨年の歌壇を顧みると、一回は一回より進歩して、躍を進めた人、涙ぐましい努力を續けながら、一所に驟の進まぬ人、神出鬼没的にその健在を示す人、切抜帳を取出して具に檢校する時、多少の感懷が無いわけでもない。

◇何はともあれ、昨年は昨年として、今年こそ大いに快心の作を寄せられる樣希望する次第である。

詩

ヤンキーチーム

聖市　東鶯

サントスに錨を下したアルゼンチナ號ヤンキーチーム

蹴の野球の快味を追つて敵の强さも雨降空も天に任せてカ中尾球場

迎ふるはオール・サンパウロ見物は黒山をなして息を呑む曇り空なのにユーモア味を橫溢させO・Kと煙草をふかす雨が降らうと風が吹かうと海が相手の假等も男だ

三回戰七對二

キャプテンは太つたヤンキーボーイ

ロの葉卷を手に持つて輕く英語で檄を飛ばした

カーン、ヒット〳〵

灰色のユニフォームが躍つて球のきらめき合へる春灯

軍服のわが古寫眞　春灯　高橋　果亭

蹴鞠の青きが晴し　春灯　佐藤　桃生

ギターばかり損ある店の春灯　後藤　綿湖

春の灯に丸く居り居る眠れる　西原　藤水

春の燈や　人形と寢る　女の子　佐藤　潔子

團欒の子の名まどるや春燈下　岩上　五重

鼠ぶれの捕へば誘ふ春ともし　中野　陽水

國亡びて春灯晴き倶樂部かな　伊勢　鹿茸

春灯に人形の袖の翻ける　山崎　青史

春灯や　早寢の父に　母小言　白石　秋峯

開墾のこゝに四軒や　春灯　久保　伯楊

春燈に　子等おとなしく　父母を待つ　花田　良俊

母の客　娘の客や　春灯　石川　芳園

春燈を　つらねて列車　過ぎ行けり　鈴木　掬春

春の灯や　遺花を急ぐ　娘達　林　銀河

春の灯のこぼるゝ軒にギター弾く　荒堀　初櫻

ラヂオ止めて　ホ句の座となる　春灯　増田　拓山

春燈ト小說ナナを讀み終る　増田　恆河

春灯下　積木のビルが建ちにけり　念腹

春燈や太軸マッチ箱にあふれ　春の燈を　まともにニグロ這入り來し

友だち

由紀子

親しかつた友だちと郵公のなく頃泣いて別れた

あれから十年

FもHもそしてKもみんなちりぢりになつてしまつた

年上のSは病院船に召されてもうやがて二年になると言ふ

オチビさんのKは先生になつて四國の町へ移り

Fは時局にそつて大陸へ行つたと言ふ

おとなしいHはただ一人故郷の町に殘りいつも私に友情にみちた便りをくれる

海をこえた故郷のにほひを一ぱいに盛つて

"幸不幸"

プ・ブルチンテ　別府　二郎

パチリ、夫が電燈を消す

白い妻の顏が微笑む白い妻の手が動く……

おや

藤か窓の下を通つて行く

車もそうな足音だ

何も知らずに通つて行くのだ

部屋内は温かい

窓外は寒い

愁ひ

"親を離れ行く人に"

パストス　島田　四郎

ヲン咲けど悲しき想ひ出に熱きものの瞳に溢れつつ

老婆へし父の母の面影の招けども遙かなる

唱ふれど哀れなる飛ぶ星の淋しなく去り行きて

枕邊に夢絕えてむせび泣く旅寢の愁ひ哉

俳句

念腹選

春の燈

佐藤いさを

御厨子の開かれてあり　春灯　うつむける　マリヤ觀音　春灯　長久　國器

手のうちに見る小鏡や　春灯　春の燈の　普本繁へ　眞直ぐに　間崎　惠子

春の燈の　今宵は暗く　人戀し　すり終へし　墨の香りや　春灯　目黑はるえ

み佛に　告ぐる春燈　灯しけり　寢ころびて　夫は讀むなり　春灯　鹿茸

椰子

夏季雜　各題一人十句宛　以上〆切十二月十日

マラリア　各題一人十句宛　以上〆切一月十日

謹賀新年
公認
林裁縫女學校
舍監主任　林　今朝士
校長　林　艶子
林　鈴子
マリリア市キンゼ・デ・ノーベンブロ街三三七

謹賀新年
農產物・棉花仲買
宮城新昌
マリリア市パロン・デ・バナナル街一四二
郵函　E
電話　三一九三

正賀
坂根駿三
マリリア市サンルイス街四五六番

正賀
佐々木製菓所
マリリア市キンゼ・デ・ノーベンブロ街

正賀
林田伊三太
マリリア市

正賀
シンガーミシン會社
マリリア市代理人
太田元良
マリリア市パエス・レーメ街三〇九番

正賀
林田七平
マリリア市クワトロ・デ・アブリール街

謹賀新年
料亭
一力
マリリア市カンポスサーレス街

正賀
加藤憲
マリリア市パエス・レーメ街一九〇番

謹賀新年
ドットール
川口熊太
マリリア市

謹賀新年
澁谷憲治
マリリア市ビンチクワトロ・デ・デゼンブロ街一一五番　郵函一八八

謹賀新年
天理教會
マリ、ア教會
野崎スミ
マリリア市

正賀
智念齒科醫院
智念達雄
マリリア市キンゼ・デ・ノーベンブロ街四九六

正賀
ソルベッタリヤ　石井
マリリア市パロン・デ・バナナール街三八五

正賀
本田寫眞館
マリリア市ノーベ・デ・ジュリヨ街

正賀
うどん、すし並小料理一式
バール酒井
加藤　武
マリリア市パロン・デ・バナナール街一四五

正賀
吉田寫眞館
マリリア市サンルイス街一〇六六

正賀
バステラリア西見
マリリア市ノーベ・デ・ジュリヨ街一三八八　電話三二八〇

謹賀新年
バウリスタ延長線
メスキッタ
商工會
豆腐製造販賣　飯田貞夫
內外雜貨商　小畑與五郎
バール　小畑久藏
ペンソン並ニバール　小川利一
內外雜貨商　岡本樫太郎
製菓並ニバール　大泉周市
製材業電氣工業　中平三夫
家具並ニ棉花仲買業　中倉駒太郎
寫眞師　永田清市
家具製造業　上村達人
バール並ニビリヤール　松本貞己
洋服店　遠藤亮助
バダリーヤ　東孝
洋服店內外布地販賣　齋藤澤治
菊池好
ガゾリンポスト　宮嶋正吉
地主　諸永金郷
內外雜貨商　森本源一
農產物仲買並ニ精米業　杉原卓治
杉原數生
齒科醫　前田信男

謹賀新年
食料品、小間物
内外雑貨
小畑兄弟商店
バウリスタ線ガルサ驛經由
メスキタ町
郵函一（ガルサ驛）

正賀
大陸洋服店
バウルー市驛前大通り

正賀
佐藤勘七
カフエランヂア驛
平野植民地

正賀
産婆
井芹鶴子
ガルサ市

正賀
帽子染物及び洗濯迅速丁寧に應じます
チンツラリーア・バウリスタ
ガルサ市バロン・デ・リオブランコ街四五
電話一〇三　郵函五一

正賀
バール山本
山本登良吉
ガルサ市ジヤルヂン前二七
郵函D

正賀
うどん
バール山下
山下アツミ
ガルサ市イートベンチアード街一八八

正賀
内外雑貨、小間物　食糧品
カーザヤキ
屋宜盛健
バ延長線ガルサ驛

正賀
山内亀喜
ベラクルース町

謹賀新年
農産物仲買
岡本光雄
ベラクルース町　電話七六

謹賀新年
汎ガルサ青年聯盟
伯國柔劍道聯盟
ガルサ支部

CASA YASHIMA
MAEDA & OHIRA
謹賀新年
内外雑貨、食糧品、農具
農藥品、農産物買入
八洲商店
バウリスタ延長線ガルサ市
郵函七三番　電話六一番
前畑行安
大平八郎共營

謹賀新年
生長の家
伯國バウリスタ支部
齋藤繁一
松田大二郎
ガルサ驛　郵函二七

謹賀新年
CHEVROLET
オフシーナ竹内
竹内金市
バ延長線ベラクルース町
電話五六番
郵函六一番

謹賀新年
羽藤洋服店
羽藤數志
ベーラクルーズ町

謹賀新年
本年も相變らず御引立を
御願申上げます
ニット寫眞館
新田白陽
關香群
小柴平
新田カルロス
ベラクルース町　電話六〇

謹賀新年
バール
ソルベツテリア
伊福義高
バウルー市
バプチスタ街一ノ二九
電話一八八番
Rua Baptista de Carvalho, 1-29
Telephone 188 Bauru

謹賀新年
バール・石橋
石橋竹次
バウルー市バプチスタ街

謹賀新年
各種新柄豐富に取揃へ
皆樣の御來店を御待ちして
居ります
橋本洋服店
橋本外次郎
バウルー市本通り

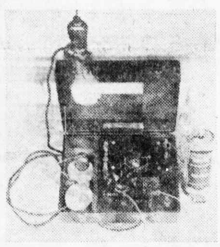
謹賀新年
子供服、カミーザ、メイア
内外化粧品、玩具類
其他小間物、流行品一切
夜間營業、年中無休
バザール渡邊
渡邊重美
バ延長線ベーラクルーズ町
本通り
郵函一九八

謹賀新年
内外雑貨、蓄音器、レコード
小間物、農藥品農具金物一切
並御旅館
カーザ・ジヤポネース
棉花買入
コンパニア・イングレース
代理人　豐田武雄
ガルサ驛
電話一五四
郵函一九四

謹賀新年
内外雑貨商
佐藤商店
佐藤吉次
バウルー市
ルア・プリメイロ・デ・アゴスト
三ノ三九番　電話七七九番

謹賀新年
天理教々師會
ブラジル分會
事務所　バウルー市
郵函ピラ・ファルコン一〇

謹賀新年
專賣特許　第貳貳四貳九號
金原式電氣治療器
△療法は簡易
△効果は偉大
難病を絶滅し
老衰者を
若返らせ
健康を增進す



科目
發電及内外線設計
電氣器具及び機械
修繕　販賣

適應症
腦病、諸衰弱症、婦人病、泌尿生殖器病、胃腸病、諸神經病、其他難病、電氣美顔術

製造發賣元
バウルー市バンデイランテス街三一五五
金原電氣工業舍

明けまして御めでたう
御座います
入學は今！
御照會次第規則書贈呈
公認
バウルー裁縫女子學園
多賀時造
橋本俊次
同　澄子
多賀君代
バウルー市キンゼ・デ・ノーベンブロ街九ノ四

謹賀新年
フジヤマ印醬油釀造元
山藤澤商會
ノロ線　カフエランジヤ町
電話三一番　郵函一四〇番

謹賀新年
カフエランジヤ
商工組合
（イロハ順）
齒科醫家　入卯平
伊勢屋旅館　吉安庄造
内外雑貨商　吉安格造
内外雑貨商　竹内商店
月見屋旅館　安原善太
東京寫眞館　熊谷圖司
内外雑貨商　安良田、建本共營商會
農産物仲買　福原信義商會
醬油釀造業　藤澤商會
内外雑貨商　佐々木商店
呉服店　小林至誠堂
農産物仲買　楠正平
内外雑貨商　右田商店
小間物商　南部商店
藥店　田邊謙一
製菓並にバール　三橋万之助

謹賀新年
バウルー市唯一の邦人反物商
最新流行カーザ東山絹布一手販賣
丸矢呉服店
純羽二重新柄、ガジミーラ一切
呉服、反物、糸類、小間物、化粧品
既製品、子供服、子供用帽子
布團綿、眞綿、其の他各種
矢島實
バウルー市バチスタ・デ・カルバーリヨ三ノ四二

謹賀新年
バウルー市青年會

謹賀新年
平野産業組合
ノロエステ線
カフエランジア町
郵函一一五番
電話一一番
理事長　佐藤勘七
專務理事　山下定一
常務理事　山室弘三
同　植田勘三郎
同　石岡貞次郎
同　久我素一
同　藤井七郎
同　福永司郎
同　緒方メ吉
同　富田英實
同　堤三郎
同　的場勝
監査　德本彌三郎
同　高田傳助

謹賀新年
伊集院兼哲
芳賀仁吉
高橋源吉
金原久藏
竹田清一
國井五郎
笠井貞藏
加來晋一
小林武夫
澤尾磯七
沖山心平
土田榮四郎
富田光實
矢島實
佐藤吉次

謹賀新年

歯科院
佐々木正治
カフエランジヤ驛
バクリー市街地

謹賀新年

金物商
柏木喜八
リンス市本通り
電話六　郵函二〇三

謹賀新年

ソルベツタリア
バールニッポン
大畑俊美
リンス市オラポ・ピラツキ街三〇一
ポスト・サンパウロ前

謹賀新年

常に時代の尖端を行く
最新流行の殿方の御洋服は
是非當店へ
山本洋服店
リンス市
オラポ・ピラツキ街

LIVRARIA NIPPON

謹賀新年

書籍・雜誌
學用品一切
ニッポン書店
武井誠
リンス市

謹賀新年

森部、青山藥局
藥學士　森部一希
リンス市ビンチ・ウン・ヂ・アブリール一五一
電話　一四四

謹賀新年

自製靴販賣
並に修繕迅速、丁寧
市場靴店
市場廣市郎
リンス市ナラポ
ピラツキ街三〇四番
（清田商店前）

Posto de Serviço
Lavagem e Lubrificação de Automoveis
Ferreira & Cucolo

謹賀新年

本年もよろしく
御願ひ申上げます
ポスト・アングロ
リンス市郵函一二

正賀

歯科一般
堀田歯科醫院
ゼツツリーナ市　郵函一八

謹賀新年

伯國公認測量技師
リンス市囑託
瀧田森義
事務所　リンス市ルアー、テネンデ
ゴーメス・リベール三〇

謹賀新年

リンス日本人醫療共濟組合
組合員一同

謹賀新年

リンス日本人會
會員一同

謹賀新年

リンス聯合青年團
汎リンス青年會
汎ゴヤンベー聯合青年團
汎ゼツツリーナ青年聯盟

謹賀新年

青山耕地
青山滿次郎
青山寛三
リンス驛カンペストレ
尾比久植民地
郵函　二〇三

謹賀新年

謹啓各位益々御清昌奉大賀候陳者去月三日臨時總會開催仕り當國外國人團體取締り新法令に基き純正なる內國人團體として改組登錄仕り候　尙役員選擧の結果左記の通り當選就任仕り候間此の段及謹告候也

一九四〇年十二月

（舊リンス中央日本人會）
汎リンス國際慈善會
郵函　二〇三

左記

顧問　多羅間鐵輔
理事長　內山吉藏
副理事長　石井三郎
常務理事　吉住勝彥
仝　宮島誠
會計理事　西金藏
仝　原實藏
監事　佐藤次郎
仝　永野勘太郎
仝衛生囑託　今田求
仝　小池靜夫
學務部長　本田授
外交部長　水城磯次
產業部長　小池靜夫
衛生部長　森部一希

各位

Fabrica de Calçados Lins
SIGERU KAMADA

謹賀新年

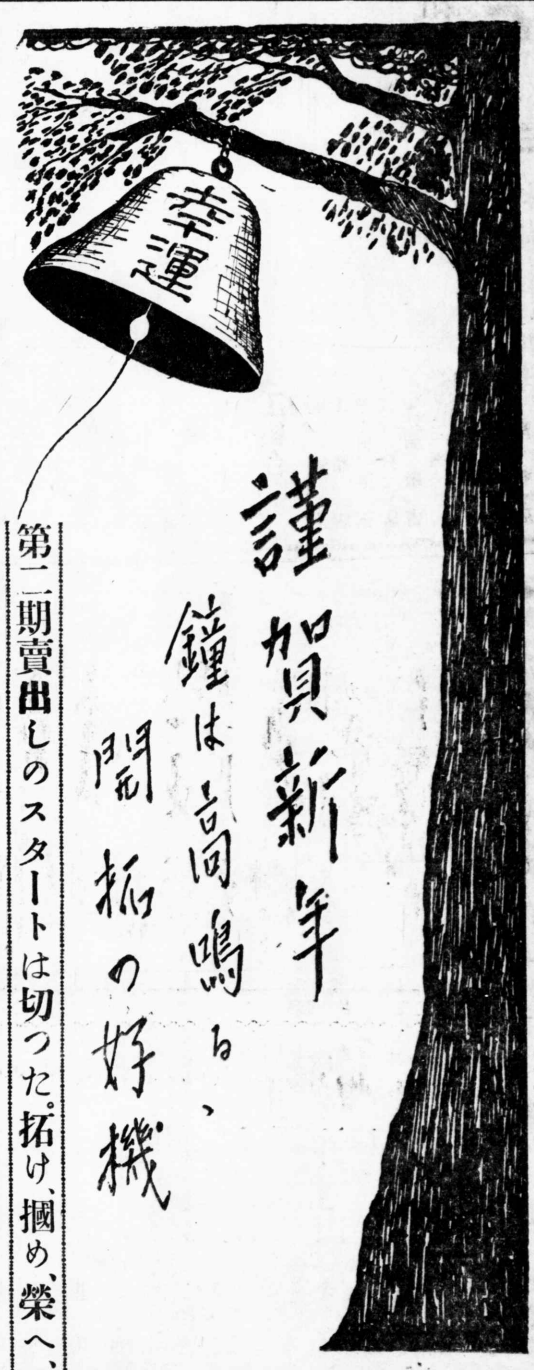
昨年中は格別の御愛顧に預り深く御禮申上ます
本年も相不變御引立の程伏して願上げます
尙本年度製品は更に三、四ヶ所に大改良を加へ全く
完全無缺なものとなりました　一層の御愛用を……

輕便勞働靴製造工場
工場主　鎌田茂
工場員一同

各種雜貨商
小間物化粧品
カマダ商店

リンス市本通り　郵函二〇五

店主　鎌田茂
店員　市川松夫
藤本久透
重阪前由喜夫
麻田正義
藤本政夫
濱地正之助
鎌田耕作



謹賀新年
鐘は高鳴る、
開拓の好機

第二期賣出しのスタートは切つた。拓け、摑め、榮へ、

▣フロレスタ耕地の保護林壹千域分讓す

◇位置　ノロエステ變更線グワラ、ペス市より二十キロメートル、ルピアッセ驛より拾キロメートル、滿田植民地の隣接地マサツペープレート。パウダリヨ。フイゲーラ。ジヤンガーダ。ウルチーガ。ブリマベーラ。セドロ。リツサ地帶四百九十メートルより五百メートル以上の健康地にして、地形は大波狀形を爲しカフエー、棉、米、万作に好適地なり

◇地質

◇地價　域當壹コントより壹コント五百針迄（地質は同一なるも距離に依り地價の差あり）

◇支拂條件　初年度四割拂込み殘額は二ヶ年賦拂ひ無利子　◎購入契約と同時に域に付き百五拾針以上の保証金を申受く

◇交通　自動車道路（郡道）はグワラ、ペス市よりルピアッセ驛經由ロッテ內を貫通して滿田植民地に至る　◎昨年度の入植者六拾余家族は成績良好なり　◎賣出し地の中央にパトリモニア、カラムルウ市街地を開設し目下ロッテの賣出し中

◇乘合自動車は滿田植民地を發車してカラムルウ新市街地を通過しルピアッセ驛に出てグワラ、ペス市迄で毎日往復致して居り交通至便なり

▼視察者は何時でも御案內致します

◇地主　ファゼンダ・フロレスタ・リミタダ
總支配人　ドツトール　ダミオン
總代理人　リンス市リオブランコ街四五七　城間嘉助
總代理人　グワラ、ペス市　滿田勝美

昭和拾六年元日

正賀
バザール・アベニーダ
宮下義雄
リンス市本通り（志方時計店前）

正賀
出利葉洋服店
出利葉園
リンス市ピンチウン・デ・アブリール

正賀
ペンソン、食堂
古川改造
リンス市ルイス・ガマ街二六八番
（原籍 福岡縣糸島郡可也村）

正賀
幸地旅館
幸地仁榮
リンス市

正賀
理髮店
具志堅仁英
津波德太郎
リンス市ルイス・ガマ街

正賀
亀井鮮魚店
リンス市ピンチウン・デ・アブリール

正賀
理髮店
淵上守人
リンス市ルイス・ガマ街
（青年會館上）

正賀
パール、ビリヤール
源河幸永
リンス市

正賀
山口七郎
リンス學園

正賀
齒科醫
和泉春一
リンス市

正賀
石井鍼灸療院
リンス市ヴインチウン・デ・アブリール一七二（パール東京上二軒目）

正賀
アオ・エスポルテ・リネンセ
木村稜威雄
リンス市 郵函二〇三番

謹賀新年
内外雜貨商
菅山支店
樋口長一
リンス驛サンジュオン植民地

謹賀新年
各種時計修繕所
山本央
リンス市ルイス・ガマ街四七三
（三好旅館隣）

Farmacia Moderna
謹賀新年
モデルナ藥局
主 作田益太
藥學士 作田俊秋
リンス市ルイス・ガマ街
電話 六〇番

謹賀新年
旅館
食堂
笠井善太郎
リンス、本通
電話 四一番
大衆的
安く良く
御客樣本位

謹賀新年
純日本式手打うどん
そば專門 並パール
リンス名物
ツルカメ屋
長安百合忠
リンス市

謹賀新年
桶類、家具類製作所
井貝泰造
リンス市ルア・フロリヤーノ
ペシオート九八二
郵函 二〇三

謹賀新年
ライオン洋服店
平田庄太
リンス市

謹賀新年
バール
ビリヤール
ソルベタリヤ熊坂
熊坂喜兵衛
リンス市本通り

謹賀新年
寫眞引伸
肖像畫
熊坂悌助
松澤久男
リンス市オスワルド・クルス街三五
（郵便局右隣）

謹賀新年
バール
ペンソン
白川音作
リンス市本通り
（ポスト・テシヤコ前）
郵函 二〇三番

謹賀新年
皆樣の御食事、御休憩所
新鮮な果物、各種高等飲料
バール
セントラル
川原兵太
リンス市ルイス・ガマ街
電話六二番 郵函二〇三番

謹賀新年
バール川越
川越吉之助
リンス市オラボ・ビラツキ二七五番
郵函二〇三番

謹賀新年
御所用又は御病氣で……
御出市の節は
▽親切 ▽丁寧 ▽清潔
皆樣ご
旅館相原
リンス市 今田病院向角より三軒目
女中さん一二三名至急入用
今田病院並に眼科病院（元カンピーナス眼科）に最も便利な閑靜な場所で安心して靜養出來ます

謹賀新年
設備、新裝
親切、丁寧
廣島旅館
青木仲藏
リンス市ルイス・ガマ街
（青年會二軒目）
郵函二〇三番

Bar Pensão Miyajima
謹賀新年
宮島旅館
宮島誠
リンス市停車場筋本通り
郵函 二〇三番
電話 一四二番

謹賀新年
洋裁專門
西照子
リンス市リオブランコ街
郵函 二〇〇番

謹賀新年
製造並修繕
各種自動車用コムラドール
並ラヂヤドール
イデアール電療機
特價 二五〇ミルレース
（各種電池あり）
バールたるま屋
内田直治郎
リンス裁判所直前

謹賀新年
バール
ペンソン
サツマ屋
川路國夫
リンス本通り六四
郵函二〇三番

謹賀新年
バール
ソルベッタリア
畑田榮之介
リンス市

ESCRITÓRIO DE ADVOCACIA E CONTADORIA
A CARGO
DO ADVOGADO PAULO DE MAGALHÃES E DO CONTADOR GERALDO MUTO
Rua Floriano Peixoto 446 ..... LINS

謹賀新年
昨年は特別の御引立に預り厚く御禮申上げます、迅速、親切、誠意を旨として同胞の爲め努力致し度く存じます、今年も一層の御後援の程懇願奉ります
法律會計事務所
辯護士 パウロ・マガリヨン
會計士 武藤正敏
武藤伊助
リンス市フロリアノ・ペイショット四四六
（リンス裁判所前樣）
外國人登錄事務、稅務署書類手續
簿記整理、專賣特許
商工業者の營業登記
土地買賣および登記
人身保護、傷害事件
呼寄證化、裁判事件
遺產相續、破產事務
諸願書製作等其の他一般法律等御相談に應じます

SALÃO ROYAL
謹賀新年
今回高良理髮美容院（サロン・セルソ）を譲り受け「サロン・ローヤル」と改名の上開業致しました從前同樣一層の御引立を御願申上げます
リンス本通り（福助旅館上）
堀田理髮美容院
△理髮師 牛山良春
エヂオ・ロドリゲス
アントニオ
△美容師 堀田初江
オンドラソン
ベルマネンテ 野中道子
リンス驛ゴヤンペ町
堀田齒科醫院

あけまして
お目出度う
御座います
リンス市
貸自動車組合
（イロハ順）
植田又次郎
小松原十三男
鈴木輝一

謹賀新年
黑嶋印
醬油
釀造元
黑島伊平治
プロミッソン驛前通り
郵函二一四

謹賀新年
リンス商工組合
（いろは順）
雜貨商 原實藏
雜貨商 濱崎末次
雜貨商 本田授
製麵製菓 高橋增造
鐵工場 田中庄助
鐵工場 中村孝
替助會員 山中信一
東山 藤倉二郎
替助會員 今田求
雜貨商 小山實造
雜貨商 權藤五月
旅館 相原龍平
雜貨商 青木祐雄兄弟商會
鐵工場 下矢治三郎
森部一衛
バザール 菅山輝吉

GIL & SCHUELER
ESCRITORIO:
Avenida 7 de Setembro, 221 - Fone, 79 - Caixa, 68
— LINS —
謹賀新年
フォード自動車
リンス代理店
ジル・イ・シユエレール
●新舊フォード車取次
●支拂ひは簡易な便法あり
●一般機械工作も致します
ノロ線リンス市

謹賀新年
各種時計、蓄音機、レコード
眼鏡附屬品販賣並修繕
ビクター、コロンビア代理店
志方時計店
志方重雄
井上政敬
八卷市三
リンス本通り

謹賀新年
御祝物、佛事、折詰物
せんべい類、其他調進
朝日堂製菓工場
野村政七
リンス市（今田醫院上）
衛生設備完備の工場が落成致しました
一層の御用命御願申上げます
□巢子見習生募集＝希望者來談

日本人と科學

山本忠興

推進力としての科學

イギリスがスペインの無敵海軍を撃破して以來、三百五十有餘年間世界に覇をとなへ得た事は、勝れた科學と其の應用が原動力であり、推進力であつた事は、萬人の認めるところであります、今度獨逸がイギリスを叩ふにまはして、ヨーロッパ大陸の全面に於て電撃的勝利を博し、イギリスを今日の窮地に追こんだのも全くより勝れた科學と其の應用に原因する事は否定する事の出來ない事實である、ここに日本人として反省し、考察すべき二つの重大な問題があるのです。其の第一は日本人は果して科學人として歐米人の間に肩を並べ得る素質を持つて居るかの省察であります

第二には古ひ秩序の世界で其の科學が、どの樣に活用されたか其の爲め世界民族の間にどんな幸福とどんな不幸を招いたか、この事を歴史的事蹟について調べて、これからの新らしい秩序の時代に科學の成果をどんなふうに活用して行くかの指導原理を發見する必要があります

いつたい日本人はこの點についてどんな特長を持つて居るのでしようか、これは私どもが新體制に入るに當つて反省豫覚すべき問題であります

日本人の科學的素質

日本人は模倣には巧でありますが、獨創的な能力に欠けてゐるといふ批評は殆ど定評かと思はれる程に歐米人の間に喧傳されて居ます。現にヒットラー總統が著はした「我が闘爭」にも、白人を太陽に、日本人等を月に比して、白人は獨創力を有して自らの能力を發散して光を輝かす事が出來るが、日本人は月の如く光を受けて照る事は出來るが、自ら光を發する能力を缺ひてゐるといふ意味の一節があります。日本人自身の中にもこの樣な批評を肯定してゐる傾きが無いでもありません。然し私の考へるところでは、我が國民のうちに偉大な科學人としての素質の潜在してゐる事は疑ひない事であります

ただ日本は東亞の孤島に國を建て、天惠と地利によつて外敵の侵入を受ける事がなく、山の幸、海の幸に長い間武陵桃源の夢を貪り、歐米科學の世界と没交渉に過して來ました。殊に明治以前には我が國には普遍的な理科教育はありませんでした。ただ折々に或部門に天才が現はれて、其の一生の修練の結果を家傳として其の後繼者に傳へる、後繼者は其の家族の中か父は其の弟に其の秘を傳ぐ、こうして現代の科學を以てしても容易に再製し難い作品さえも殘したのである。即ち日本人の持つてる科學人としての素質は現代科學の形では發揮せずに獨特の藝術的作品のうちに其の才能に現はれて居るのであるものは、力學的に又冶金學的に現代科學の最粋を盡しても得難い逸品であります。若し正宗が其の會得した秘傳を現代科學の言葉を以て講演したとしますと、今日の世界の科學界でも驚嘆の外はないであります。先人の鍛錬を學ぶに便宜が寡かつたにも拘らず、この樣な先人未踏の境地に其の技を振つた幾多の天才が藝術的作品のうちに其の獨創的能力の記錄を留めてゐる事は、我が日本人の中に科學人たる素質の潜在する何よりの證據であります

明治以後の時代にあつてもまだ耕されてゐない科學の畑に育つた人には、多くの不便と開拓すべき荒蕪が其の途を塞いで居ました。科學界に其の名を止めた日本人は寧ろ偶然の幸運に恵まれて其の素質を伸ばす機會に恵まれた人々であつた、大多數の者は不運のうちに足を伸ばす事が出來ず、未來の時代への棄石となつたのであります。其のよい證據はアメリカの樣な良い畑に其の生命を托した人々の中に高峯譲吉、野口英世の樣な科學者を發見するのであります、若し此一人が其の當時日本國内にゐたのであつたならばとても盛名を博する事は期待出來なかつたでせう。二人の稀な才能が良い機會を得、然も非凡の努力によつて日本人の有する素質を、白人の間に於て現はして臭れた事は感激すべき事であります

又アメリカに育つてゐる第二世の人々のハイ・スクールでの好成績を耳にするのですがこの偉大な二人の科學者の後繼者の發揮を第二世達に希望する事は無理な願ではないのです。國内にあつては殊に特別な地位と機會を持つた人々が科學の世界に多少の獨創的研究を以て貢獻する事が出來ました。尤も我が國の科學の畑が耕かされるにつれて、其の成果は年々歳々其の量に於ても其の質に於ても加速度的な進展を見せて居る事實は私どもの見解を裏書してゐると思ひます

新體制下のわが科學

長い間無自覚か、又は環境の爲に其の素質が現はれずに、早くも其の芽が萎み勝ちであつた我が國の科學界には、今回の支那事變は一陽來復、寒國に於て梅櫻桃李が一時に花を開く樣に、國民的自覚と適切な手段に恵まれて、既に雷を含んだかと思はれます

過去七十年のさゝやかな研究海設の下にあつても、現在の國防と產業に、とも角も我が國を世界强國の列に推進せしめたのは、我が國民の有する科學的素質の一端を示すに十分であります。今や支那大陸に於て輝かしい戰果を收め得たのも皇軍將兵の忠勇なる精神による事は勿論であるが、我が國科學の進歩に負ふところが大であり、又今後ゆるぎない國防國家を建設して行く上にも科學の進歩が其の先達とならねばならない事は國民の誰にも自覚されて來ました

これにつけても、元來器用で直感的能力を備へ、藝術的教養ある日本人は偉大な「エンヂニアー」になれるのですから、この上師教養を積む事が期待されるのです

新時代の指導精神

アングロサクソンが世界を制覇して來た三百五十余年の歴史を考へて見ますと、其の科學的推進力とキリスト教的な考へが其の能力の源泉であつたことはいふ迄もありません、然し一つの大きな誤謬は新體制下の我が國民に警戒を與へる第二の問題を示します。即ち英米の所謂デモクラシー體制下の人々には、彼等の稀な科學文化を以て自己の民族の幸福繁榮に利用し、弱小後進民族を犠牲に資源を恣にせんとする事であります。これは一方では他の國民の宿願を滅ひ他方では自國民の奢侈逸樂の原因となり、今日の崩壊の基となつたのであります。所謂東亞共榮圏の確立は、豫め此の樣な利己心を清算して東亞に於て壓迫されて來た諸民族の解放と發展幸福を基調とすべきであります。この事は我が肇國の精神に合致し萬世一系の天皇を戴いてゐる日本國家の要求するところであります

謹賀新年
内外雜貨商 小間物
清田商店
清田安雄
草野貞正
リンス市オラポビラツキ街

謹賀新年
バール・マエダ
ペンソン・マエダ
前田桝五郎
リンス市本通り（本田商店隣り）

謹賀新年
各種洋菓子製造卸販賣
久保美佐緒
リンス市

謹賀新年
師富榮
リンス市

謹賀新年
高級醤油 汐乃香
上田醤油釀造所
ノロエステ線グワキサラ驛
郵函 五三番

謹賀新年
森部果樹園
みかん苗 其他苗類 一切
森部市藏
グワキサラ驛 郵函六一 電話一五

謹賀新年
今田求
リンス市

謹賀新年
ミシンの御用命は當店に……
ミシン修繕並びに賣買店
店主 原十九男
リンス市セッテ・デ・セッテンブロ三八（本通り）
家具古物商
福田保
リンス市セッテ・デ・セッテンブロ街三八（本通り）

謹賀新年
内外雜貨、反物並小間物、カルサード類
奥山濱作
バール奥山
ノロエステ線グワキサラ驛
郵函一五番

謹賀新年
清酒 伯鶴
醤油 ミツワ
清酒『伯鶴』釀造元
醤油『ミツワ』
ノロエステ線グワキサラ驛

謹賀新年
靴類。帽子。子供服
カミーザ類。小間物一切
吉本環商店
リンス市本通（ルイス ガマ角ヨリ下へ三軒目）
郵函二〇三番

謹賀新年
内外雜貨
本田商店
本店 リンス市 電話一二八
本田支店
支店 グワキサーラ町
主任 高野雄次郎
郵函一七 電話八
本田授

謹賀新年
おいしいソルベッテと新鮮なるお菓子は富士見屋へ……
富士見屋本店
グワキサラ驛前 郵函一二番 電話一二番
富士見屋支店
リンス市ルイスガマ街 郵函二〇三番 電話一八六番

謹賀新年
日本清酒
日乃華釀造所
所主 瀬戸德寧
釀造所 ノロエステ線グワキサラ町 郵函 五五番

謹賀新年
内外雜貨商
小間物
野菜種子一切
吉岡商店
吉岡榮
外店員一同
リンス市ルイスガマ青年會館前 電話 二〇九番

謹賀新年
内外雜貨、食料品
小間物類一切
權藤商店
權藤彌藏
權藤武
權藤好美
ノロエステ線グワキサラ驛 郵函一二〇番

A HORA CERTA
Rua Avenida 7 de Setembro 141
謹賀新年
各種時計・蓄音機及附屬品販賣並修繕
淵上時計店
淵上常久
リンス市本通り

謹賀新年
電氣機械、器具並ラヂオ、自動車修繕
兼頭電氣機械工作所
兼頭善四郎
リンス市ロドリーゲス・アルベス 郵函二〇三番

兼頭兄弟製菓所
バール東京
兼頭弘安
兼頭勝美
リンス市青年會館上角

兼頭洋服店
兼頭綾市
延長線サンターナ町

謹賀新年
Officina Nipponica
ESTAÇÃO LINS C. POSTAL, 203
ジヤルヂニエライ・製作工場
高橋倉吉
リンス市

空爆下に曝されたロンドンとベルリン

果てしなき獨機の破壞力
憂色深し、眞冬の倫敦

地下に永久的にしかも堅固に構築された防空壕の内部

夜が明ければ、朝まだきから夜のとばりが降りれば夜もすがら近代文明の尖端を誇る獨逸におそるべき破壞力を乘せたドイツの爆撃機は、ほとんど假れを知らぬ顔にロンドンの心臟を衝いてゐる四ケ月となつたが、ロンドン市民はけふこのごろどんな氣持でゐることだらう――眞冬の霜たい風に心なく散り行く街路樹の葉が黃色い絨毯を敷きつめたやうなトラファルガー・スクエヤーのベンチに腰をおろした勞働者たちの顔にも、地下鐵のプラットフォームでどす黑い毛布にくるまつて、彼らに天井を眺めて暮す人々の顔にも「戰爭とは一體なんだらう」ぼやッと深い感慨に思ひを巡らしてゐる表情が浮んで來てゐることは見逃せないであらう

――人間はこの地上だけにはとにもかくにも住むことができるのだが――といふ觀念の逆を衝いて、地下でなくては住み得ない――といふこの「近代戰爭」を人々は改めて凝視してゐるのだ！――

空からの脅威、破壞力、しかも何ものをもこの「破壞力」の前には弱小であり、これを完全に食止めることができない、人智の「能力」の無力さに市民はたゞわけもなく驚嘆しさうして考へ、ひたすらに地下へ地下へ――と、もぐり行くことだけが許されてゐるといつてもよいだらう――まことに大戰の表情は一變した、戰線は地上でなくて天空に擴がつて、しかも果しない大空を限して、時速平均四百キロの空のタンクは縱横に縱横り何ものも反撃することができない彈力爆彈は天の一角から地上に舞下つて、日々戰死して行く多數は呑い戰鬪員ではなく、皮肉にも銃後の非戰鬪員であるといふこの變形的戰爭に

いまさらながら驚きの目をみはるばかりだ

――だが「叩かれてもひしがれてもロンドンの死命は斷たれない、ナチ魂の困難か、イギリス魂の死滅か、行くところまで行つて勝負をつけよう――」といふ非壯な心持ちで一杯だ

子供も泣かぬ英の爆彈
空爆競爭にも落着いた伯林

ドイツのイギリスに對する攻擊は、ゴる九月八日のロンドン空襲をもつて完全に本格化し、夜ごとの波狀的空襲は、毎夜十二時過ぎに襲來するが常に二、三機で、四回約二時間位にわたつて攻擊を繰返すのみで、數百機の大編隊が寄せては返す怒濤の如くぶつつづけに襲ふドイツ機のロンドン空襲とは比べものにならず、しかも距離の關係上（約一千キロ東京―浦塩間と大体同樣）大型爆彈はもつてこられず、五十キロ位のものだから命中しても被害は大したものではない、かつドイツ側の熾烈な防空砲火を恐れて非常な高空、時には八千メートル位の上空からの爆擊であるから、命中率も甚だ劣い

イギリス側放送によると、シーメンス工場やボッダム驛、テンペルホーフ飛行場などに多數の爆彈を命中炎上せしめたといつてゐるが實際に行つて見てもほとんど被害の跡は見られぬ、又今日は爆彈がウンターデンリンデン先の東西橫軸道路の眞ん中に落ちてゐるのを見たが穴があいてゐるだけで、こんな程度なら二十個や三十個落ちても大したことはあるまいと感ぜられた

警報は大体十分くらゐ前に發せられるが、市民は大体毎晩來るものと覺悟をきめてゐるので、逸早く身支度を整へ防空室に避難する、各戸にも殆ど地下室を設造して防空室が造つてあり、市中隨所に公共用防空室の施設があるので、御自にゐるものは皆これに入るが、中には防空室の中に荷や椅子を持込み、トランプや讀書をしてゐるものもあるといつた有樣で、どこにも悲壯とか恐れ戰くといふ感情は見出されない、子供も眞夜中に起されて地下室に來るが、子供に對する訓練が日頃から實に嚴格なので泣いたり、むづかつたりするものもなく、ちつと坐つてをり、ドイツ的訓練の成果を如實に示してゐる

近代戰の特徴たる爆擊競爭が展開されるに至つた、しかしながら最近イギリス側は大体毎夜十二時過ぎに襲來するが常に二、三機で、四回約二時間位にわたつて攻擊を繰返すのみで、數百機の大編隊が寄せては返す怒濤の如くぶつつづけに襲ふドイツ機のロン

謹賀新年
中村商店
中村忠吉
中村旅館
ビリグヰ市　郵函八五
中村長次郎
ビリグヰ市　郵函八五

賀正
雜貨商
平田青木商會
ビリグヰ市　郵函一二

賀正
齒科醫
清水安丸
プロミッソン町

謹賀新年
バッテン寫眞館
優美鮮明なる當館の撮影は
きつと皆樣の御氣に召します
本館　ビリグヰ市　廣瀨和一郎
出張所　ビラッキ町　廣瀨正三

賀正
林裁縫女學校
ビリグヰ驛ビラッキ町

賀正
內外雜貨・洋服・小間物
カーザ山根
ビラッキ町　山根保夫

謹賀新年
ビリグヰ驛
ビラッキ商工組合
珈琲精選工場　小野原定七
齒科醫　伊藤達馬
百貨商店　カーザニッポニカ
パール馬渡次平
農產物仲買　山本紀雄
農產物仲買　梶家勘一郎
パール・ソルベタリーヤ　池龜英男
雜貨商　吉井彥一
乘合自動車　平井享之助
寫眞業　大島英雄
旅館

謹賀新年
CASA TAMIYA IRMÃOS
João K. Tamiya
Bairo Antinha - Caixa Postal, 97
Promissão — N. O. B.
內外雜貨並農產物仲買
反物・化粧品・小間物類
田宮兄弟商會
プロミッソン驛
パイロ・アンチンニヤ植民地

謹賀新年
Masaki & Iyda Ltda.
PROMISSÃO
プラスコット會社代理店
間崎・飯田商會
プロミッソン市
電話三一番
郵函一八番

賀正
一月元旦
バラマンサ農場

賀正
農產物仲買
樋浦眞一
ビリグヰ市八五　電話一五八

謹賀新年
新鮮なる美味榮養食を
何時にても用意してあります
バール並に
レストランテ　ツリヤング
平田光雄
和洋ペピーダス
フルッタス
コンセルバス　各種
ビリグヰ市

CASA NIPAK
內外雜貨、卸小賣
日伯商會
代表　佐々木郭吉
從業員一同
ビリグヰ驛ビラッキ
郵函四八　電話四八

謹賀新年
プロミッソン町
伊津野旅館
伊津野末雄
いろは旅館
ソルベッタリヤ・パール
堀井兼一
名嘉眞旅館
名嘉眞朝松
前原旅館
前原參太
鈴木旅館

謹賀新年
有限責任
プロミッソン產業組合
組合員一同
ノロエステ線プロミッソン町

謹賀新年
農產物仲買
土地賣出人
坂道太作
ビリグヰ市二七三
脚下に殘されし唯一の地
豊饒安住の理想鄕
◆ソロカバナ線ブ・ブルデンテ驛
レボージョ耕地
一千二百八十六アルケール
地主ジョン・ダシールバ・オリベーラ氏
地權確實
◆ノロエステ線プラナールド驛
二千アルケール
◆北パラナ州ビラニット植民地

謹賀新年
プロミッソン町商業倶樂部
飯田商店　電話三五番　郵函一八
西岡商店　電話九〇番
堀井兼一
大橋寫眞館
龜井寫眞館　電話八七番
當山商店　電話八五番
土屋商店　電話五二番
中須賀商店　電話二一番　郵函三二
オリンピック製菓所　電話六二番　郵函五五
青木力太　電話三四番　郵函一四四
平田商店　電話一二番　郵函四七
福田新三郎
間崎三三一
立石正人　電話一九番
フォード代理店、雜貨商
雜貨商
農產物仲買商
ソルベッタリア・イロハ旅館
フォット・アウロラ
寫眞機及材料販賣
雜貨商
農產物仲買商
雜貨商
農產物仲買商
雜貨商
農產物仲買商
パール
セントラル
雜貨商、ガソリーナ補給所
パール鮮魚店
カーザ東山ノロエステ總代理人
農產物仲買商

謹賀新年
ビラッキ商事會社
精珈米部
農產物賣買部
雜貨日用品販賣部
組合員一同
電話五
郵函四八

謹賀新年
同胞諸賢
謹賀新年
現業員
辰巳正勝
福原勝次郎
飯田敏壽
平田一雄
橋本直文
荒齊
ライネロムニス
セッキスムンドラシヤキ

正賀
チエテの及物
切味無比、延壽獨光
稲苅鎌大量製作　東製作所
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
ペレイラバレット市

正賀
美好屋
東　美好
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
ペレイラ・バレット市

正賀
專賣特許二六三四
谷口式アラード及農具一式　製作工場
谷口茂
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
ペレイラ、バレット市

謹賀新年
製材部　皮革部　鐵工部
大太田工場
太田勇藏
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
ペレイラ、バレット市

謹賀新年
古關德彌
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
ペレイラ・バレット市
中央事務所

恭頌一億一心新春
末原實男
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
チエテ移住地中央事務所

謹賀新年
邊見國雄
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
ペレイラ・バレット市
中央事務所

謹賀新年
湯朝信助
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
チエテ移住地中央事務所

謹賀新年
佐藤常藏
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
ペレイラ・バレット市

謹賀新年
平田洋服店
ビリグイ町　郵函十二番

正賀
ホテル　山本
山本政義
ビリグイ市

正賀
奬學舍、アラサツーバ學園
西岡好隆
アラサツーバ市

謹賀新年
農產物仲買
大里商會
大里譽富
大里正
ノロエステ變更線ガラサイ驛

謹賀新年
機械据付及自動車修繕
眞鑄々物
浩田公
他從業員一同
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
チエテ移住地
ペレイラ・バレット市

謹賀新年
新裝なれる
ホテル・チエテ
田中繁雄
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
ペレイラ・バレット市

Hotel Sekai
謹賀新年
ホテル・世界
安齋勝衛
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
ペレイラ・バレット市

正賀
安瀨洋服店
安瀨賢
アラサツーバ市

正賀
理髮店兼に小間物店
新里次良
アラサツーバ市

正賀
バール・ソルベッタリア
森勝雄
ノロエステ線アラサツーバ驛

正賀
勝田正通
アラサツーバ市

謹賀新年
本年のセツカにクビにたつかもしなし
ノロエステ奥の新開地
グワラサイ驛から約八キロメートル、肥沃豐饒の大眼給林に隣邦の眼は入れられた！
族に一千アルケールは契約濟み、どし〳〵カフエーも植え付けられてゐる。子孫のため安住の地を求める人は來り求めよ
◆なほ次のムリチンガ驛管内に二百アルケールを限つて好條件悟地も御世話致します。
總代理人　フランシスコ　江藤
ブロミツソン市
ノロエステ變更線グワラサイ驛　川越與吉

正賀
高山寫眞館
チエテ移住地ペレーラバレット市　郵函二十一番

Escola de Corte e Costura
州政府公認
教師　江口光子
經營者　江口忠治
ノロ變更線グワラペス市郵函五九

謹賀新年
新裝なれる
變更線唯一の
長尾旅館
館主　長尾與三五郎
ノロ變更線
グワラペス市

謹賀新年
家具一式
木工一切　製作工場
山崎等
ノロ變更線
グワラペス市

謹賀新年
食料品・雜貨
井上
木村
共營商會
井上浩
木村清
ノロ變更線
グワラペス市

謹賀新年
內外雜貨商
川嶋熊治郎
裁縫教授並に仕立
川島ウメ
ノロエステ線ルツサンピーラ驛
ペレイラバレット市

正賀
ベール平田
平田文雄
ベンナポリス　郵函一〇一

正賀
ホテル丸井
ベンナポリス市　電話一三四
郵函一〇一

正賀
岡本耕地
岡本龍太郎
ノロ驛變線グワラペス驛

謹賀新年
瀨ノ上商會
グワラ、ペス市

謹賀新年
シンゼルミシン
附屬品一切　代理店
米倉仙八
ノロ變更線
グワラペス市

謹賀新年
ビリグイ市
電話九六　郵函一九六
內外雜貨
卸小賣商
岩本支店
岩本爲三
本店　サンパウロ市
岩本爲彦

謹賀新年
安瀨盛次
アラサツーバ市

正賀
バール、ソルベッタリヤ
農產物仲買
久保田兄弟商會
ベンナポリス市

正賀
ガゾリンポスト並ニ雜貨商
出森金藏
ベンナポリス市　郵函一〇一　電話一〇一

正賀
ベンナポリス驛一〇一
ホテル平
平清次

謹賀新年
梶本洋服店
アラサツーバ市本通り

黑木洋服店
アラサツーバ市本通り

謹賀新年
海興銀行
アラサツーバ支店
電略Kaigin, - Araçatuba
電話八六　郵函二〇八

謹賀新年
ブラウーナ
商工組合
ノロ線グリセリヨ驛
ブラウーナ町

旅館　青木順作
家具專門　山本龜太郎
洋服店　野島薫
製靴商　上村勇
農產物賣買　セリ澤繁藏
雜貨商　セリ澤清太郎
洋服店　セリ澤靜雄
八木商會
農產物賣買　八木武八
郵函　八
齒科專門　乾晴二

謹賀新年
アラサツーバ
商工組合（イロハ順）
製麵所　伊藤商店
雜貨商　出利葉商店
中央藥局　大原商會
精米所　合同藥局
鐵工所　余越鐵工所
雜貨商　武部商店
ホテル　松本長重郎
精米所　安瀨商會
旅館　平井八十衛
雜貨商　菅山商店

謹賀新年
バールバライーゾ町
（イロハ順）
雜貨商　大野七郎
齒科醫　加藤武義
各種家具製作所　鍵谷家具店
製菓業　野村時之助
バール、玉突亜に旅館　山口安彌
奥服商　古川、浜崎共營商會
バール、ソルベッタリア　佐藤東壽
ホテル、サンパウロ　峯松春二
農產物仲買商　平栗博司
洋服店　弘中增太郎
バール・ベンソン　森園三代次
靴及馬具製作所
ノロ變更線バールバライーゾ驛

謹賀新年
今農年度は優良種子を原產地より直接入手の上發芽保證付　本年ハ品不足デス
志村美濃早生大根、美濃九日大根、美濃廿日大根、美濃四十日大根、赤大長二十日大根、同中長大根
——以上の大根は年中出來ます——
宮重大根、練馬大根、方領大根、桃山大根、櫻島大根、聖護院大根、聖護院無、天王寺無、チーフ白菜、包頭蓮白菜、結球白菜、ちりめん白菜、鮮白菜、山東白菜、杓子菜、小松菜、法蓮草、京菜、新菊草、フダン草、人參大長、同中長、アルファッセ・レボリダ、同サンカイテーナ、同クレバブランコ、同ロマーナ、ピメントン・イスパニヨール、同カドラード、濃の川午蒡、東京太ねぎ、絹さやえん豆、トマテ大リサ、同シヤット、同ペーラ、コーベマンテーガ、同トランシーダ、アルメロン、コーリヤ、サルサ、ルツクラ、そら豆お多福豆、うづら豆、コーベフロール・ジガンテ、コーベフロール・ベルマク、コーベフロール・グランデ、レボーリヨ・シヤット、同テンボロン、セボーラ・カナリヤ、テンボロン早生△わさび苗△めよう荷苗△うど苗△萬覇苗芋など野荷いたしました。その他△タンボール、カルトーラ、メーヤカルト・ラ、石油空ラッタ等近日中着荷致します　△あぶら蟲退治用ニコチン液等の害蟲驅除劑もあります
以上何れも特價にて御用命に應じます
◎値段表は御一報次第お送りいたします
グワラペス市　郵函九九
渡邊種子物店

正賀
行德伊太郎
グワラペス市

謹賀新年
アラサツーバ
合組業產
カフエゾポリス支部
行耀支部
コレゴプラツタ支部
サンタフエー支部
ノーバ日本支部
アラサツーバ市
電話　二二四
郵函　八八

正賀
内外雜貨商
大城取英
マットグロッソ州 カンポグランデ市

正賀
内外雜貨商
源河吉春
マットグロッソ州 カンポグランデ市

謹賀新年
山川吉次郎
バストス市街地
郵函八番

FOTO. SÃO PAULO
TSUNAJIRO HIRAI
C. P. 361. BASTOS
明けまして御目出度う
御座ゐます。
尚本年も何卒御用命
御引立の程御願ひ申上ます
サンパウロ寫眞館
平井綱次郎
バストス市街地
郵函三六一

謹賀新年
バストス名産干ソバ
福田製麵所
福田良三郎
バストス市街地
郵函一九一

謹賀新年
近澤恒信
リノポリス市街地
郵函九六（バストス）經由

謹賀新年
食料品雜貨商
田川商店
田川壽雄
バストス市街地
郵函三六

TINTURARIA
S. PAULO
謹賀新年
洗濯業
知花幸信
マットグロッソ州 カンポグランデ市

謹賀新年
カンポグランデ酒業組合
マットグロッソ州 カンポグランデ市

謹賀新年
バストス絹織物工場
聖市本店
上田精二
上田平吉
聖市サントアンドレ街

謹賀新年
日本映画バストス配給
運搬業
本田正雄
バストス市街地
電話一七
郵函八十番

謹賀新年
諸車並ニ農具製造
森田鐵工所
森田彌市
バストス市街地
郵函三四五

謹賀新年
内外雜貨農産物仲買
運搬業
岡本兄弟商會
バストス市街地
電話二一　郵函四四

謹賀新年
井上吳服店
井上樹義
プ・プルデンテ市
イタロ・ブラジレイロ銀行隣
郵函二五

謹賀新年
バザール川崎
プ・プルデンテ市
郵函五〇三

謹賀新年
理髮
オンドラソン・ペルマネンテ
ペンテアドス　マニタレ其他美容術
晝夜の別無く何時でも御用命に應じます
美容院
プ・プルデンテ市　院主　吉村軍次
エコラウ・マッフェ街　理髮師　吉村永平
三九同　田渡榮一
電話　二二一　美容師　吉村ツエ
郵函　二四六同　ソッタ・セザリエ

謹賀新年
各種御用命に應じます
土橋木工場
土橋喜代壽
プ・プルデンテ市驛前
郵函二三五

謹賀新年
井上吳服店
井上樹義
プ・プルデンテ市
イタロ・ブラジレイロ銀行隣
郵函二五

謹賀新年
リノポリス産業組合
他從業員一同
郵函九六（バストス）經由

正賀
農産物仲買
志水宇平次
ノロエステ變更線グワラサイ驛

HOTEL ESTAÇÃO
正賀
カンポグランデのお宿は
ホテル・エスタソン
宮平市榮
マ州カンポグランデ市驛前

Casa Japoneza
Est. Miranda
Esta do de Mattogrosso
謹賀新年
增田商店
增田廣吉
マ州ミランダ驛

Casa Paraiso
Bar Correio
謹賀新年
内外雜貨並バール
農産物仲買
神谷光商店
マットグロッソ州 カンポグランデ市
郵便局前
電話一一六

FOTO STUDIO KOMATSU
Shigeshi Komatsu
Caixa Postal, 109 – Presidente Prudente
正賀
美術寫眞
現像・引伸・燒附
小松寫眞館
小松重
プ・プルデンテ市
郵函一〇九

謹賀新年
グワラサイ商工組合
雜貨商　岡崎商店
雜貨商　平田商店
雜貨商　平田傳三
雜貨商　山分
雜貨商　小關敬吉
旅館　桑田靴店
ソルベタリヤ　橋本定市
エヅノッキ
松島洋服店
石橋バール
ノロエステ變更線グワラサイ驛

謹賀新年
運搬業及
オフィシーナ・グワラサイー
高橋周太
林口達次
ノロエステ變更線
グワラサイ驛

正賀
田中喜一郎
ノロ變更線ミランダポリス驛
ファゼンダ・モンテ・セラード

謹賀新年
珈琲・精米工場
ピンガ釀造工場
仲尾權四郎
マットグロッソ州 カンポグランデ市

謹賀新年
自動車修繕業
川野嘉一
マットグロッソ州 カンポグランデ市

謹賀新年
カンポグランデ産業組合
マットグロッソ州 カンポグランデ市

謹賀新年
オリエンテ・スタヂオ
片山寫眞館
片山日吉
マット・グロッソ州 カンポグランデ市

謹賀新年
ノロエステ變更線ラビニア驛
ラビニア商工組合
（イロハ順）
雜貨商　猪熊政一
同　岩原愼一郎
製靴業　井上桂造
精米所及バール　濱井京七
雜貨商　西久保喜一
同　道法敏正
鐵工所　田邊幸一
農産物仲買商　田中末彦
指物師　高辻力太郎
ホテル　根本利七
マキニスタ　中川一人
バール及貸自動車業　中村藤吉
寫眞館　矢井正夫
雜貨商　藤坂源治
藤渡森太郎
ホテル　小松永文
バール　秋本久一

謹賀新年
ミランダポリス
商工組合
（イロハ順）
鐵力職　西村豐
バール　本坊重德
ビリヤール
農産物仲買商　大原惠吉　C.P. 30
洋服調製所　小山田省吾
ホテル　吉村銀藏
雜貨商　中村義雄
シンガー　長尾茂
ミシン代理店
理髮館　永岡重治
バール、ソルベッタリア　村方源藏
空閑　C.P. 6
バール　山田平一　C.P. 6
自動車修繕工場　網倉留平　C.P. 23
雜貨商　貞野謙生
バール、ソルベッタリア　佐藤英治
馬具及靴製作所　木戸三郎　C.P. 36
諸車農具一式製作工場　水上德太郎
雜貨商　本宮商店　C.P. 17
建築請負業　鈴木幸作
ノロエステ變更線
ミランダポリス驛

正賀
製糸—製織
村井工場
工場主　村井利三郎
ノロエステ線ルウサンビーラ驛
ベレイラ・バレット市

謹賀新年
有限責任
チエテ産業組合
役員職員一同
組合本部
購買部
精米所
棉花事業部
畜産加工部
農業倉庫
ベレイラ・バレット市

謹賀新年

内外雜貨、食料品
農産物仲買

西山千司商店

バストス市街地
郵函一四六

謹賀新年

土木、建築請負業

坂井猛

バストス市街地
郵函三三一

賀正

味噌
醬油製造販賣

古澤高正

バストス市街地
郵函二八二

賀正

安中寫眞館

宮崎一義

バストス市街地　郵函三五〇

謹賀新年

額縁、ガラス商
紙函の製造開始致しました

尾上恭介

プ・プルデンテ市

謹賀新年

料亭

二葉

プ・プルデンテ市　郵函三七四

謹賀新年

内外雜貨

矢野商店

矢野彦次郎

プ・プルデンテ市公園前
郵函三七四

謹賀新年

産業會館食堂部

バストス市街地

謹賀新年

宮崎洋服店

宮崎德松

プ・プルデンテ市
郵函三四〇

謹賀新年

内外雜貨

黑澤商店

黑澤卓爾

プ・プルデンテ市ピラ・マルコンデ
郵函三〇〇番

謹賀新年

柔劍道聯盟バストス支部

支部長　佐藤福太郎
副支部長　草原義松
常任幹事　相澤繁
外有段者會員一同

郵函一五二

謹賀新年

靴類、馬具一切、運動具
旅裝具、衛生用品

角藤商店

角藤光雄

バストス市街地　郵函二七

謹賀新年

卸、小賣並に
各種御注文に應じます

ハレルヤ製菓所

（職人並ニ見習生數名募集）

作間秀雄

バストス市街地
郵函一一七

賀正

農産物仲買商

川口土美三

プ・プルデンテ市　郵函二一九
電話九八

謹賀新年

棉花、取扱
農産物仲買

三宅仁藏

プ・プルデンテ市　電話五九
郵函一二一

賀正

プレシデンテ・プルデンテ日本人會

ソロ線プ・プルデンテ市　郵函七一

賀正

プ・プルデンテ商工會

プ・プルデンテ市

賀正

プ・プルデンテ市青年會

ソロ線プ・プルデンテ市

謹賀新年

田中穰商店

バストス　電話十一番
郵函百十三番

謹賀新年

本田山川共營商會

スタンダード・デ・ガゾリーナ
ポント・デ・ヂヤルシネイロ

本田好
山川吉次郎

バストス市街地　郵函五番

Choji Ishibashi
CAIXA POSTAL, 206
BASTOS
Est. Rancharia
E. F. S.

謹賀新年

日の丸印農具製作

石橋農具研究所

バストス市街地　郵函二〇六

謹賀新年

ガゾリーナ・デ・ボンバ

棉花
仲買

後藤利一

バストス市街地　電話九
郵函七九

謹賀新年

バウリスタ延長線
ゾーナ・ダ・マツタ、ファゼンダ・スホサ
マツキスビルナ土地賣出人

藤原高一
地免義恭

バ延長線ルセリヤ市街地
郵函五一四（バストス）

謹賀新年

土木建築請負
家具
農具　製造

バストス製材所
バストス煉瓦工所

佐藤福太郎

バストス移住地
電話一〇番
郵函一二五番

謹賀新年

聖州農務局登錄
番號第二十七號

バストス産業組合

總務部
信用部
管理部
購買部
精棉工場
精米珈琲工場
醫療部
製粉製油工場

謹賀新年

珈琲精選・精米工場

マキナ
ジヤポネーザ

佐藤喜作
後藤利一
從業員一同

バストス市街地
電話四〇
郵函六二

參戰論の嵐の中に 吼えるリンドバーグ

英國は參る、ドイツは勝つ米國よ！歐洲の覇者たるドイツと提携せよ！リンドバーグ大佐は歐洲戰爭開始以來かゝる絶叫してゐる。ナチス嫌ひヒットラー嫌ひの米國で、しかも英國を國防の第一線と考へて英國援助に狂奔する米國で、非參戰運動のリーダーとなりドイツとの提携を唱道する彼こそ、まさしく世紀の勇者であり、冒險兒といはねばならぬ。國際政局は渦巻く怒濤、彼は万雷の拍手に迎へられて壇上に立つた、昨年九月十三日米の武器禁輸撤廢に反對して起つてから、獨の實力を說き、參戰制止の為に渾身の勇を振ふ彼、叡智を秘める廣い額の下に眼光は爛々として衆を射た、壇内はシンと靜まり二万の心は一點に集中した。

「參戰への煽動は今や驚くべき速度で增大し、ヒステリー患者らは歐洲からの侵略に備へ、落下傘部隊防禦隊を組織せよといふに至つた、この廣大な大西洋を狹小な英佛海峽にそゝへて浸蝕を描いてゐる。そして米國の安全は英國軍の勝利によつてのみ防禦できるといつてゐる。しかし千變万化の國際情勢下にあつても米國の傳統的獨立の精神は脈々として國民の心裡に燃え最近やうやく輿論の中に見出されるやうになつた。われ／＼はワシントンがその昔行つた警告を忘れることはできぬ。しかるにその警告に反して米國民は歐洲の陰謀に加はり、デモクラシーを擁して去つてゐるのだ、われ／＼は國防を完備して第三國の侵入を防げば足りるのである」

「余は信念を披瀝し、他をいはうとは思はぬ、余は諸君の喝采を博するより、余の誠心からいはんとするところを尊敬してもらへばよいのであるかゝて余は今日大衆に聽いてもらふより親友に語るつもりで話してゐる」

喝采は嵐のやうに起る、彼の心は全く聽衆と同化してしまつた。

「余はかつてソ聯空軍は世界一のものと聽かされた、佛國陸軍は歐洲一であり、英國海軍はドイツ空軍より强いものと敎へられた。――ドイツは石油、食料、軍需品を有せずマジノ線は不新であり、イタリーは參戰せずと說かれた、この嵐の宣傳は歐洲から奔流して來たニューヨークから飛行機で乘込んでゐた。

獨逸を怖れ ねばならぬ

去る七月四日午後シカゴ市の"甲子園球場"ソルヂヤーズ・フィールドでは、米國不參戰市民委員大會が開かれた場を埋める會衆二万、英國援助へ米國の輿論が滔々と流れ去らんとするとき、不參戰の旗幟を明かにする十字軍の集まりだ、その十字軍を率ゐるべく、リンドバーグ大佐は前夜ニューヨークから飛行機で乘込んでゐた。

"現實"であらう

の正確なる米國へ流れて來、これが正しいかどうかを疑へばドイツの敵しき者と呼ばれてしまつた、このためどれだけ歐洲の軍備力について誤られたことかはかり知れないものがある。"富强れば禍起らん"と支那の諺にもある通り、英國は余りに富み、中歐は余りに貧しかつた、余は一九三六年から一九三九年にかけて歐洲諸國に遊んだが、英國が老衰し行くのに比して、ドイツの軍備が巨人の如く增大し行くのを見た、佛國もやうやく戰爭の危險に目覺めてゐたが、政界は野望の徒に左右され、經濟界は亂れ、再軍備など思ひも寄らぬことであつた。即ち英國には魂なく、して組織があり、佛國には組織なくして魂のみ存しドイツのみ魂と組織の双方を備へてゐたのだ、當時すでに余は歐洲に一戰避け難しと信じたのである」

「問題は古今周知の個士と資源の分割である、これは歐洲の歷史視まつて以來繰ひられた、余が歐洲に住めば住むほど歐洲問題は外部から解決し得ず、また永久の平和はあり得ずと感得するに至つた」

「過去においては米國は英佛に支配されてゐた歐洲と交渉を保つてゐた、將來はドイツに支配される歐洲と交渉を保たねばならぬ」

賛成の喝采と、ブーといふ反對の聲は期せずして湧いた

リンドバーグ大佐は憮然として立つて

自由の國アメリカの世相は徵兵忌避のための結婚者が續出するといつた誇張ぶりで、一時的熱狂發作の爆藥をひそかに服用して應召を回避する米國の壯丁と等しくこんな兵隊さんは幾百万の頭數を揃へても全く烏合の衆で高度國防もおぼつかないものだ

「英獨いづれが勝つても西洋文明は歐洲と米大陸の二大中心に存在し、歐洲と米大陸が戰へば文明は全く破壞されるのだ。

ドイツが勝利を得れば協力は一切不可能となり、條約は一片の紙屑となると一般にいはれてゐるが、しかし兩國に得するところがあれば協力は決して不可能ではない、また弱小國を入れずに條約を結べば決して條約は破れない、余は米國の陸海空軍の實力を信ずる、そして非常の際に國民の胸奥に存在する米國的性格を信ずる」

演說は終つた、喝采につぐ喝采だ、群衆中にはドイツ系の人々もゐる、英佛系もユダヤ系すらもゐる、この際ひ切つた銀瓶演說に心から共鳴しない連中もゐたはずだ、しかし壓倒に歐洲の紛來をいひ切つた大豪說者の獅子吼に一樣に拍手喝采を送らざるを得なかつた、それは英雄崇拜の群衆心理に過ぎなかつたかも知れないが

彼の主張は 他とちがふ

リンドバーグ大佐の非參戰論乃至論は他の米國の非參戰論乃至孤立論者とは異つてゐる、昨年以來の彼の主張を見るに彼の議論はデモクラシー米國の單なる孤立ではない、彼は次の時代はドイツの勝利によつて、歐洲は全部その支配下におかれ、世界は東洋における日本と、西半球における米國と、最後にソ聯との四大ブロックに世界の勢力圖が分立する、そこで米國としては英國を援助するやうな道義を食ふより、米國自身で軍備を充實して西半球諸國を米國の支配におくことを主張してゐる

そのためにはカナダすらドイツのポーランドとなし、現在の國際情勢の下では單なる中立は取扱ふべしとなし、現在の國あり得ぬ、武裝中立のみ行はれるといふ。そして從來の集團保障制を平和を來すことを得ず、大國と大國との交渉によつて平和をもたらすべきものであるとなし、全く歐洲におけるドイツの生存圈乃至廣域經濟論を西半球内に適用しようといふのである、このナチス主義が彼にどうしてこんなに深く植付けられただらうか

餘りに正確な 彼の豫言

愛兒惨殺事件後彼は渡歐した、而し空の王者は社會が騒かにさせてはおかない、三八年の八月には自家用の黃色と黑色に塗つた飛行機を駕つてモスクワに飛び、ソ聯官邊の熱狂的歡迎を受けて航空大會に出席し、それからソ聯空軍工場を視察して何事も語らず引揚げたのである、この獨ソの航空視察報告書は、駐英米國大使ケネディ氏から米本國へ送られたが、その中には英佛航空界の事情も記されてあつた。ところがどうした具合にか、この報告内容がロンドンからパリへと傳はり、ソ聯空軍の幼稚極まることが明かにされ、佛國の軍用機が舊式で不十分であることもわかつた、この重大報告が外部に漏れると異常なセンセーションを起した。ソ聯はブラウダ紙上にリンドバーグ大佐の報告を赤空軍誹謗と反駁し、リンドバーク大佐が彼に依頼した、この空の權威の各國診察が嘘のそれの如く正しく、ミュンヘン會談ではチェンバレン首相がドイツの前に屈服せざるを得なかつた有力な原因となつたことは眞實と認められる、（寫眞はリンドバーグ）

謹賀新年
内外雜貨類
農産物仲買
古賀商店
古賀勘市
ソロ線プ・ベルナルデス驛
電話七五
郵函一三二

謹賀新年
日ノ出旅館
村田道江
プ・ブルデンテ市驛前
郵函三八四

謹賀新年
内田利藤次
プ・ブルデンテ市
マノエル・
ゴロアルテ七六
電話一五〇
郵函二四八

謹賀新年
Casa Ogata
内外雜貨
農産物仲買
尾形商店
尾形實
生駒千秋
プ・ブルデンテ市
電話一三六　郵函三四〇

謹賀新年
正賀
武田功
プ・ブルデンテ市
ルア・ジョアキン・タアボラ三十一
郵函一三七

正賀
現像・燒付・引伸
キング寫眞館
渡邊正德
ソロカバナ線プ・ベルナルデス驛
郵函一八七　電話七三

正賀
ガクブチ類販賣
ガラス
碓井家具製作所
プ・ブルデンテ市郵函三五五

正賀
和洋御料理仕出し致します
簡易食堂
竹田森次郎
プ・ブルデンテ市
郵函八一

正賀
金城洗濯店
プ・ブルデンテ市
郵函一二二

正賀
バール
花崎集人
プ・ブルデンテ市ピラ・マルコンデ
郵函四二一

謹賀新年
片岡旅館
片岡虎吉
プ・ブルデンテ市　電話三五　郵函一一〇

正賀
メイジ書店
山口勉
プ・ブルデンテ市　郵函一七六

正賀
山下製菓所
プ・ブルデンテ市
電話二六〇　郵函二一五

正賀
バザール部
バール・ソルベッタリーア
比嘉盛基
プ・ブルデンテ市公園前　郵函三六七

正賀
雜貨商
渡邊重
プ・ブルデンテ市郵函九

正賀
技術本位
所洋服店
所道夫
プ・ブルデンテ市

正賀
販賣並修繕
森時計店
森光次
プ・ブルデンテ市公園前
郵函三六七

謹賀新年
棉花仲買
東洋旅館
前園次郎
プ・ブルデンテ市驛前
電話一七四
郵函一〇九

謹賀新年
農産物仲買　内外雜貨
大西兄弟商會
プ・ブルデンテ市　電話一三八　郵函八一
サンタ・アナスタシオ驛電話七　郵函三八一
大西支店

謹賀新年
製氷、グワラナ製造工場
上月商會
プ・ブルデンテ市メルカード隣接
電話一六四　郵函一七九
營業種目
グワラナ・パウリスタ
ソーダ・リモナーダ
シャロッペ
衞生飲料水
ヴインニョ各種
ヴイナグレ
糖製アルコール
セルベージヤ・アンタルチカ代理店
氷は大量の御注文に應じます

謹賀新年
長井裁縫女學校
校長　道浦光子
教師　山田君子
プ・ブルデンテ市　郵函一五一

謹賀新年
朝日製麵所
金城兄弟商會
プ・ブルデンテ市
郵函一一三

謹賀新年
内外雜貨
食料品
篠塚商會
篠塚喜哉
同　勘之介
同　忠治
プ・ブルデンテ市サンタ・カーザ通り
電話三〇七
郵函二八〇

謹賀新年
プ・ブルデンテ
農業者產業組合
プ・ブルデンテ市
郵函五二二番

正賀
雜貨商
牧野有作
プ・プルデンテ市サンタ・カーザ通り
電話二一六　郵函二三九

正賀
Gennosuke Narita
成田源之助
ソロ線サンタ・クルース
ド・リオバルド市

正賀
チンツラリーア・ジャポネーザ
バール・ソルベテリア
清島佐吉
サンタクルース・ド・リオバルド市
電話　一二六番

Casa Hirata
正賀
食料品・雑貨商
農産物高價買入
平田商店
店主　平田安賴
ソロ線エスピリトサントツルボ町

正賀
食料品・雑貨商
井戸田商店
店主　井戸田彦勝
ソロ線アグードス驛在
ドナ・アメリア町

おめでたうございます
バール・ペンソン
植木商店
店主　植木武夫
ソロ線セルケラセザール驛
郵函十九番

正賀
寫眞師
村上繁
ソロ線ア・マツシヤード驛
郵函一七八

正賀
バール・ソルベタリヤ
山下忠吾
ソロ線ア・マツシヤード驛
郵函八六

謹賀新年
内外雜貨商
田中商店
田中數馬
ソロ線ア・マツシヤード驛
郵函六八

謹賀新年
純日本式綿製造並ニ打綿
西澤工場
西澤仙助
ソロ線ア・マツシヤード驛
郵函七二

謹賀新年
バール、コンヘイタリヤ
福原憲一
バール、ジャポネース
生野政實
ソロ線プ・ベルナルデス驛
郵函一一五

謹賀新年
棉花、農產物仲買
白石重德
ソロカバナ線プ・ベルナルデス驛
電話四九
郵函一一

謹賀新年
ロージヤ・ジャポネース
青木吳服店
青木佐六
ソロ線プ・ベルナルデス驛
郵函一〇七

正賀
內外雜貨
檜作商店
ソロ線ア・マツシヤード驛
郵函六五番

謹賀新年
家具類並ニ
一般建築請負
松本留治
ソロ線ア・マツシヤード驛
（吉雄商店前）

謹賀新年
內外雜貨
佐藤商店
ソロ線ア・マツシヤード驛
郵函七〇

FOTO IMPERIAL
DE
MARIO HIRAY
正賀
フォト・インペリアル
平井寫眞館
平井定
プ・プルデンテ市

賀正
バール、ソルベッテリヤ
勇豐信
ソロ線イバウスー驛
ジュオン・ベソーア街七二〇

謹賀新年
泉旅館
舘主　千賀米吉
ソロカバナ線アバレー市
バラナ街四十一番
郵函三番

正賀
Casa Nagata
Secos Molhados.
Conservas e Mindyas
食料品雜貨商
永田商店
店主　永田秀彦
サンタ・クルース・ド・リオバルド市
コンセレイロ・ダンタス街五九五

正賀
Pharmacia
Central
セントラール・ヤクテン
中央藥店
藥劑師　相澤盛光
ソロ線サンタクルース・ド・リオバルド市
コンセレイロ・ダンタス街四八五　電話四二番

正賀
ウニベルサル建築會社代理店
東京旅館
豐田國次郎
ソロカバナ線アバレー市バラナ街二十五番

正賀
食堂
守越旅館
守越喜三郎
ソロ線ア・マツシヤード驛　寫函一八二

正賀
建築請負
家具類製造
森田朶八
ソロ線ア・マツシヤード驛郵函六

謹賀新年
一月十五日新學期開始
成蹊女學院
赤松節子
ソロ線ア・マツシヤード驛
郵函一七六

謹賀新年
聖州ソロ線サンタ・クルース・ド・リオ・バルド驛郵函百八十一番
太洋植民地日本人會

顧問　宮口兼次郎　末永繁
會長　末永井勇
副會長　笠井清
監事書記長　大倉正友
同計　末永秋廣
同理事　門馬常夫　田中耕藏　鈴木武久　關根豊俊　遠藤景
衛生部長　白末太郎
學務部長　旗井泰男
體育部長　夏繁
演藝部長　酒井治喜代　丹松
第一分校學務委員　小林龜重　齋藤勘之丞
第二分校學務委員　淺野儀八　村田益榮
第三分校學務委員　金井金藏　馬場市兵衛
第四分校學務委員　關根景清　山口俊
第五分校學務委員　永井俊重
第一區評議員區長　今野一
宮口兼次郎　笠井勇　武田久喜　杉澤清五郎　牛谷眞琴　新井田忠雄　牛杭俊秀　今野一郎　鈴木幸次　白鳥良助　岩間喜七　渡邊重太郎　鈴木保　末永繁　井戸川一三　島田二郎　馬場市兵衛
第二區評議員區長　有田鐵男
山田治　丸齋藤貞　小林龜幸重市
大畑金助　佐田三四郎　瀬尾數一　石井寛治　丹喜代松　齋藤勘之丞　相良完　關根正男　清永壽　渡末清郎　邊盛利　大倉正　遠藤武　齋藤信　佐藤忠雄
第三區評議員區長　山田已之松
武內梅五郎　白鳥太郎　川俣好之丞　今野榮太郎　佐藤榮市　渡邊義　泉田義　天野重　天井忠　金田功　金太歲
第四區評議員區長　續橋吉雄
渡邊宗三郎　大橋三次郎　門馬秋廣　稻村倉之助　佐藤軍　山口賢治　原田清　上田峯次　關根景龜助　村上倭　澁崎直作　池沂之衛
第五區評議員區長　梅田清鐵
秋田清作　小市川正男　早坂菅喜榮　渡邊運勇藏
佐藤忠章　小黑治　渡邊成　渡邊次郎　石坂章豊　遠藤井俊重
第六區評議員區長　宇谷義雄
酒井泰男　根本至　坂正義　石坂砂治　小上常八　門馬保夫　淺田儀藏　田中耕　田河豊勇　石坂壽平　青木安郎
第七區評議員區長　村田益榮
川重太郎　宮林善次郎　清水司一　渡邊長久　鈴木仲武　牛渡弘　渡邊良　牛谷誠　半谷清義　渡邊廣義

謹賀新年
日伯製菓合資會社
西山福治
ソロカバナ線アバレー市

謹賀新年
珈琲精選精米工場
棉花並農產物仲買
杉本金松
主任　寺尾藤一
從業員一同
ソロカバナ線クワタ町
郵函七十五番

謹賀新年
ソロ線オウリンニヨス市
有名職業者盟友
食料品雜貨商
戸根商店
戸根寅太郎
日の本寫眞館
吉田光雄
郵函三二番
食料品雜貨商
川口商店
川口義治
トレスバラス移住地代理人、ピリアニット植民地代理人、ジャカレジンニヨ新園地代理人
小早川治人
郵函十五番
清潔第一　食事美味、風呂毎日あり
旭館　舘主　森本與一
日本品雜貨商
村上商店
村上眞彌
アニトニオ・ブラド街一二七番
食料品雜貨商
須山商店
須山勘一
親切叮嚀、宿料低廉
古川旅館
古川九十九
食料品雜貨商
吉瀨商店
吉瀨高雄
和洋菓子卸小賣
野口製菓所
食料品雜貨商
岩倉商店
岩倉甚之助
食料品雜貨、だるま醬油釀造元
鈴木商店
鈴木林九郎

謹賀新年
ソロ線サンタ・クルス・ド・リオ・バルド
大和植民地日本人會
顧問　杉山久之允
會長　竹內一次
副會長　清原重雄
會計　松井大作
學務委員　興武雄
八重田富治
衛生委員　大河原寅市
第一區長　杉山久之允
第二區長　狩野龜三郎
第三區長　菅野盛兒
第四區長　結城好松
第一區員　澤口芳次郎
桐禮三
片木禮太郎
丹城寺增
小田清治
笹屋房義
第二區員　阿部德壽
石川造
阿部鍬
第三區員　河野不二也
阿部八重
阿部金也
千葉美
三宅寅彥
第四區員　高橋晟
谷平義
川畑鐵
三瓶爲威

大和野球倶樂部
部長　片桐禮三
副部長　杉山光弘
會計　竹內一雄
部員　安功
山英
竹內了
細梅正
河野弘行
結城國雄
杉山兼秀
阿部光夫
小田寅彥
三宅武雄
結城

謹賀新年
ソロ線サンタ・クルス・ド・リオ・バルド驛
ファゼンダ・バラー
第一耕地主
牛田由之助
第二耕地主
牛田正久

謹賀新年

北芭トレスバラス聯合日本人會

旭町區日本人會
中央區日本人會
バルサモ區自治會
フイグーラ區日本人會
ペローバ區日本人會
バルミタール區日本人會
カビウーナ區日本人會
コゼーラ區日本人會
セボロン區日本人會
ジヤンガーダ區日本人會
アモレーラ區日本人會
グルカイヤ區日本人會
セードロ區日本人會
タンボリー區日本人會

正賀

食料品　雜貨商
岩岡商店
岩岡順
ソロ線アグードス驛在ドナ・アメリア町

正賀

出張撮影、引伸肖像
現象燒付、古寫眞の寫眞
吉田寫眞館
吉田利一
ソロ線アグードス市郵便局前郵函十一番

正賀

電氣溶接　塗工作業
ハヤオ工作所
經營者　速應操
ソロ線アグードス市　郵函十八番

正賀

食料品　雜貨商
城間商店
城間康潔
北芭ロンドリーナ市　郵函一〇四番

正賀

後藤ソルベッテ店
後藤友則
ソロ線アグードス驛前大通り

正賀

格安土地賣物澤山あり
御來訪を乞
上利新吉
北芭ロンドリーナ市　郵函八十四

正賀

食料品　雜貨商
五島商店
北パラナ、カンバラ市　郵函一番

正賀

玉突・ソルベッテ・洋食
バール安武
安武吉三郎
安武百千男
北芭カンバラ市

新年お目出度う御座います
齋木靴店
店主　齋木勇
北芭ロンドリーナ市

謹賀新年

トレスバラス産業組合
組合員一同

信用部
販賣部
購買部
利用部
精棉工場
珈琲局
組合倶樂部

正賀

歯科醫　**林秀男**　北パラナ、トレスバラス市街地
寫眞師　**林義麿**　北パラナ、トレスバラス市街地

謹賀新年
食料品　雜貨商
Casa Tukuda
佃
北芭コルネリオ・プロコピオ驛

正賀

食料品雜貨商
農產物買入れます
赤津商店
北芭ロンドリーナ市　郵函十二番

謹賀新年

視察者には特に便宜を計り
土地御案内申上げます
横山旅館
館主　横山茂夫
北芭ロンドリーナ市　郵函十二番

謹賀新年

新築落成
食料品雜貨大安賣
土居商店
土居武夫
北芭ロンドリーナ市　郵函六〇番

明けまして
お目出度うございます
相變らずお引立の程を
親切叮嚀
日伯ホテル
館主　大政幸一郎
ソロ線アグードス驛前大通り

謹賀新年

精棉、精米、精珈工場
柞磨商會
柞磨宗一
北芭ロンドリーナ驛
ローランヂア驛出張所
トレスバラス出張所

謹賀新年

CASA AURORA
Secção de Padaria
食料品雜貨卸小賣
村本的場商店
北パラナ・ロンドリーナ市
郵函三拾七番

謹賀新年

客室清潔　食事美味
風呂あり、居心地良好
保坂旅館
保坂龜藏
北芭ロンドリーナ驛前
郵函二二六番

謹賀新年

トレスバラス移住地
事務所職員一同

○サウバ蟻と風土病のない肥沃地
○本年度分讓地四千アルケーレスの中二千アルケーレス區劃測量濟
○視察費補助

ビリアニット　ジャタイ　両驛ヨリ乗合自動車毎日あり

Faz. Tres Barrs
Est. Jatai-parana
L. S. P. P.

謹賀新年

Companhia Agricola Nomura Limitada
Caixa Postal, " NOMURA " Bandeirantes
Linha S. Paulo - Paraná

有限責任
野村農事會社

謹賀新年

Casa Kuwabara
Seccos e Molhados
内外雜貨、文房具、瀬戸物類
食料品、和洋酒、農產物仲買
桑原商店
桑原久次郎
北パラナ、カンバラ市
電話五四番
郵函一〇九番

謹賀新年

ブラジル隨一を誇る棉作工業地帶に活躍するランシヤリア市市會員

歯科醫院　**伊藤米造**　イロハ順
伊藤新吾
雜貨商並に仲買　**飯田商店**　郵函三二
食堂　**長谷部**　郵函六一　郵函一四一　電話三七
中パール　忘洋服店　**橋永万造**　郵函一四五
雜貨雜穀　ポンバデガゾリーナ　**豊藤商店**　郵函八〇
パール　**茶屋伯男**　郵函七〇
ホテル旭　**岡田幸廣**　郵函五四　電話一
洋服店　**大山甚左右門**　郵函五四
雜貨商並仲買　**金子商店**　郵函一五〇
雜貨商並仲買　パールセントラル　ソルベタリア　**高田商店**
ホテルグロリア　棉仲買　**段村政七**
棉仲買　雜貨商並仲買　**藏力旅館**　郵函二五　電話十八
パール　ソルベタリア　**中村政信**
パール　バダリア　**宇佐見商店**　郵函一七
製麵雜貨並に仲買　**能丸商店**　郵函七一　電話二一
内外雜貨　ポストデガゾリーナ　**具志賢商店**
内外雜貨　パール並にポンバデガゾリーナ　**江崎龜商店**　郵函一五一　電話三五
雜貨　**澤田商店**
鍼灸醫院　**濟藤商店**
南米銀行　ランシヤリア支店　**平志鶴商店**　郵函九八
鈴木盛造

謹賀新年

山田裁縫女學校
校長　山田八重子
教師　山田時子
經營者　山田國三郎
ソロカバナ線ブ・ウエンセスラウ驛
郵函五

謹賀新年

井口明　コルシヨン製造
井原秀夫　チンツラリーヤ
石田竹次　旅館
今井・良永　雜貨商
泉克二　仲買商
堀本禮造　齒科
沖土居善明　運搬業
小野幸三　仲買商
緒方東　雜貨商
金城龜助　精肉商
田中丈太郎　雜貨商
中井穰　パール
野村善太郎　製菓所
中川茂　雜貨商
山城文一　チンツラリーヤ
松浦角次　呉服商
松浦熊槌　雜貨商
松山嗣雄　仲買商
松原勝三郎　仲買商
松井万次郎　旅館
酒見敏男　家具商
齋藤運司郎　寫眞
福岡初藏　パール
淵上貞雄　雜貨商
北山忠　雜貨商
水城忠見　雜貨商
上橋庄間　家具製造
城間洗濯店
杉原春太郎　雜貨商

ソロカバナ線ブ・ウエンセスラウ驛
商工組合
C・P　八一
（いろは順）

謹賀新年

ソロ線サント・アナスタシオ市
商工街
（いろは順）

旅館・食堂　**西原卓造**
内外雜貨　**本田商店**　郵函九三
農產物仲買　**菊池全**　郵函一四八　電話四〇
雜貨商　**大西支店**　電話七　郵函一三八
スタンダード石油會社代理店
雜貨商　**大西清志**　電話六六　郵函八九
雜貨商　**長野商店**　電話九四　郵函一三七
農產物仲買　**灘波辰雄**　郵函八九
パール　バダリーヤ　**山崎俊男**　郵函一三三
棉花並に農產物仲買　**古賀荒太郎**　郵函六
パール製菓　**坂本昇**　郵函二二
パール　バダリーヤ　**宮路國俊**　郵函一七八
仲買商　**澁谷駒平**　郵函六一
雜貨商　**瀨戸口善作**　郵函二二
旅館　**鈴木義雄**　郵函九〇
山田國三郎
水田千足

正賀

山口縣人　**原田敏熊**
ソロカバナ線サント・アナスタシオ驛
郵函八十九番

謹賀新年

正賀

農產物仲買
今井治郎
北パラナ、ローランヂア驛
郵函一三一番

新年お目出度う御座います
宮田製網日號販賣
各國製自轉車販賣
小池自轉車商會
店主　小池孝
北芭ローランヂア驛リスボア街九二三番

正賀

バール　比嘉商店
比嘉清榮
北芭ローランヂア驛
リスボア街八六八番

正賀

ソルベッタリア・セントラル
玉突台を新設いたしました
石川バール・イズノケ
石川源一
北芭ローランヂア驛

正賀

材木仲買
別府忠一
北芭ローランヂア驛

FABRICA DE TELHAS
TIPO FRANCEZA E RADRILHO E TIJOLOS
YUTAKA MIZUBUTI
C. Postal, N. 121 - Londrina - E.F.S.P.P.
謹賀新年
北芭第一・自慢の優良品產出
水淵瓦製造所
水淵勇高
北芭ロンドリーナ市
郵函一二一番

Hotel Avenida
謹賀新年
新築落成　驛前の偉觀
アベニーダ ホテル
經營者　松田
北芭ロンドリーナ市
郵函一三番

謹賀新年
一九三四年三月渡伯
アフリカ丸
藤本鶴馬
ソロ線イタペチニンガ・
サンミゲール・アルカンジョ
カツベーラ・サンロツケ

Officina Maruishi
謹賀新年
丸石式ブランタ機、丸石式改良トーミ
苅鎌、ホイセ、及物、農具一式
各種鐵材、木工具製造販賣
石丸鐵工所
丸石正一
北芭ローランヂア驛
郵函百番

CASA TOKYO
明けまして
お目出度う御座います
本年も相變らず御願致します
食料品雜貨商
カーザ東京
店主　曾根原士圭雄
北芭ローランヂア驛前
カーザ東京支店
店主　吉安幸平
北パラナ、ロヴアット町

謹賀新年
谷田才次郎
北パラナ
ピリアニツト驛

Casa Takahachi
明けまして
お目出度うございます
本年も相變りませずお引立の
程お願ひ申上げます
食料品雜貨
農產物仲買
高橋商店
店主　高橋金藏
北パラナ・ノーバ
ダンチツヒ驛
郵函二十二番

謹賀新年
北パラナ國際植民地
聯合日本人會
東部日本人會
伯和日本人會
第一區日本人會
ロンドリーナ日本人會
バリヤーノ日本人會
中央區日本人會
ノーバダンチツヒ日本人會
エレフアンテ日本人會
パラグランデ日本人會
ロレーナ日本人會
カフエーザル日本人會
ローランヂア日本人會
信愛日本人會
大和日本人會
ピットリア日本人會
マリアルバ日本人會
ジヤクチンガ日本人會

GORO OHYA
謹賀新年
農具製作
木工具製造
大屋鐵工所
工場主　大屋五郎
北芭ロンドリーナ市
郵函八番

あけましておめでたう存じます
ロンドリーナ裁縫女學校
岩佐朝代
瀧本梅子
星野千榮子
規則書御申越次第送呈、寄宿舍設備あります
北パラナ・ロンドリーナ市
（舊日本學校跡）

T. Motosima
謹賀新年
最優等品各國自轉車、北パラナ特約販賣店
本島自轉車商會
店主　本島虎雄
北芭ロンドリーナ市　郵函二〇番

正賀
內外雜貨
農產物仲買
並ニ旅館
落合文雄商店
ミナス州ウベラバ驛

明けまして
お芽出度う
御座います
本校は洋裁のほか伯國禮儀作法、編物料理、日伯兩語等を敎授いたします
（規則書呈、寄宿舍有）
公認
本多裁縫學院
校長　本多初子
北パラナ、ロンドリーナ市、郵函一五一三番

謹賀新年
棉花農產物仲買
內外雜貨、食糧品・金物・瀨戸物
小間物　化粧品・文房具　種子物
肥料・農用藥劑・農用機具
母國月刊雜誌・日本品各種
蓄音機・レコード販賣
鎌田商店
店主　鎌田六之助
アラタクアラ線タクアリチンガ市
電話二三　郵函二一

謹賀新年
食料品、雜貨、小間物
農具、金物、瀨戸物類
農產物特別高價買入
長谷川二郎
北パラナ、ロンドリーナ市
郵函一六三番
CASA PARANA
シンガーミシン會社代理店
長谷川孝一
北パラナ、ピリアニツト驛

CASA AZUL
賣小卸雜貨品料食
謹賀新年
西岡商店
北芭ロンドリーナ市
郵函十三番
岩倉商店
北芭ローランヂア驛
郵函五八番
沼倉商店
北芭ノーバダンチツヒ驛
郵函七三番

謹賀新年
マルチノポリスリ商工組合（順序不同）
農產物仲買　石井租
電話一九　郵函二一
內外雜貨、棉花仲買　光岡傳一郎
電話一五　郵函一五一
內外雜貨商　太田武雄
郵函一五四
バール日伯　末永光治
郵函二一
金物商　三田商店
チンツラリーア　村上伯夫
郵函七九
內外雜貨商　前田商店
郵函四二
バールセントロ今村製菓所
郵函一〇三
仲買　杉成行
內外雜貨、穀物　柳商店
郵函五
旅館今川
電話四〇番
農產物仲買　古谷益實
旅館　福丸藤五郎
郵函一五〇

謹賀新年
雜貨、農產物仲買、ガソリン代理店
福島商店
郵函一三二
精珈・精米
農產物仲買　杉本商店
郵函七五
ペンソン
パウリスタ
雜貨商　渡邊義和
當間商店
郵函六九
ポスト・デ・ガソリーナ
乘合バス、タクシー
平良眞吉
郵函一一
吉田寫眞館
郵函一〇四
ガソリン及ミシン代理店
雜貨商　藤井商店
郵函一一〇
バール、ソル
ベッタリヤ　灰原商店
郵函一二〇
自動車運搬　桑原春雄
郵函一一七
チンツラリーア　弓削重郎
バダリヤ、ジヤポネーザ
管沼末吉
贊助會員　後藤儀右ヱ門

謹賀新年
バラグワスー商工組合
靴製造販賣及スパイル類
鈴木靴店
郵函P
濱本理髮店
丸石鐵工所
郵函W
旅館
稻益格次郎
郵函四四
長野旅館
指物師
小澤政雄
永松健太
郵函七二
大坂旅館
電話五二　郵函九一
時計販賣、雜貨商、貸自動車
池本商店
電話五五　郵函一一四
藥局、內外雜貨
佐々木伊祐
電話五三　郵函一五
書籍、小間物
日本堂　吉澤信治
郵函九六
棉花仲買業
桑原一二
郵函一一七
呉服、內外雜貨
崎谷商店
郵函四四
內外雜貨
平川商店
郵函二

章魚とお灸

石川欣一

▲

章魚の頭にモグサをつけ、お灸をすゑるとどういふことが起るか……。

それを實驗した人がある。

はじめの間は章魚は知らん顔をしてゐるさうだが、やがて熱さを感じ出すと徐々に頭を持ち上げる。

頭を持ち上げるためには、足で起だねばならぬ。

いよいよ火が直接頭に達するころ、章魚はこれ以上は立てぬ程度に背のびをし、口をとがらせ目を怒らせ、一本の足でお灸を拂ひ落さうとする、こゝに於てかバランは破れ、章魚はグニヤリとへたばつて

▲

大喜びで返事をよこした章魚の話は自分たち見習士官の祝賀として門外不出の扱ひをすると書いてある。

章魚の眞似のコンクールを開くはずともある。門外不出を公開されては困るだらうが、ほかにも兵隊さんは多いことだし、ひまな時にお灸をすゑられた章魚の眞似をすることがそんなに面白いならば、なるべく多くの兵隊さんに知らした方がいゝだらうと思つてこゝに書いた次第。

▲

この子や、時々當書をよこすその仲間の青年たちのことを考へると、[illegible]

このやうな青年が章魚の眞似をして打ち興じてゐる有樣は考へるだけでも氣持がいゝ。

お灸をすゑられては、さぞ熱かつたらうが、章魚も軍線勇士を慰問することが出來て、

謹賀新年
中野精米所
モヂアナ線ガワラー驛
郵函廿一
中野益男
外從業員一同

謹賀新年
福島敏秀
モヂアナ線
サンジョアキン驛

謹賀新年
牛・豚・仲買
生肉販賣
赤木方治
リオ・ブランコ四八
徳永道好
リオ・ブランコ三〇
ブ・ブルデンテ市
郵函五五六

謹賀新年
X光線診察を乞はれよ。入院料は至極安價です。最高技術を要する外科手術
胃、肝臓、腸、盲腸炎、ヘルニア、痔
婦人病科、秘尿器科
ドトール ダネルッジ
ブ・ブルデンテ驛前

謹賀新年
男女服仕立致します
渡邊洋裁研究所
渡邊富子
マリリア市サンジョゼ・アンセータ街一二七番
郵函E—一五四

謹賀新年
日本旅館
館主 林田末敏
カンピーナス市

謹賀新年
大原兄弟商會
本店 農産物賣買委託販賣
同 グランデ産白米直輸入元
聖市バウラ・ソーザ街二三一
電話四—二八三一
支店 農産物仲買
精米・精棉・珈琲精撰
ノロエステ線アラサツーバ市
支店 農産物仲買
精米及倉庫
ノロエステ線グワララペス町
支店 農産物仲買
同線ミランドポリス

謹賀新年
ノロエステ線
カフエランジヤ驛
意克日本人同志會
西森一義
藤本兄太郎
渡邊林三郎
仲野敏朗
舊名（百太郎）
指導員
其他一同
意克青年同志會
會員一同

謹賀新年
内外雑貨、食料品
農産物、棉花仲買
岡本商店
岡本定雄
パウリスタ線バレットス市
アベニーダ・ノーベ五〇三
電話四八五

謹賀新年
マリリア旅館組合
ホテル 西・西 ユキ
サン・ルイス街 郵函E 電話二二一〇
同 亀屋 浦亀芳
バロン・デ・バナナール街 郵函E
同 中央 奥村平作
カンポス・サーレス街 郵函E 電話三一七九
同 山城 山城嘉明
バロン・デ・バナナール街 郵函E
同 萬平・島督
サン・ルイス街 郵函E 電話五二八六
同 富士 小林勝喜知
ノーベ・デ・ジユーリヨ街 郵函E 電話四一九一
同 エビス 木南喜重郎
サン・ルイス街 郵函E 電話四二一七
同 エスタソン 澤尾啓三
驛前 郵函一一二—A 電話二一八四
同 アリアンサ 玉城源永
サン・ルイス街 郵函E
同 作田 作田庄太郎
バロン・デ・バナナール街 郵函E
同日の出 堀善太郎
ブルデンテ・モラエス街 郵函E 電話四一四四
同 森・森亀次郎
サン・ルイス街 郵函E 電話四二七〇

謹賀新年
山下常助
モヂアナ線リフアイナ驛
第一八五回日渡航者
香川縣綾歌郡杉山村出身

Casa Yoneda
Sta. C. do Rio Pardo
E. F. S.
あけまして おめでたうございます
ミナサマノヨネダ
米田商店
棉花高價買入
食料品雑貨
呉服反物類
化粧品各種
店主 米田秀志
ソロカバナ線サンタ・クルース・ド・リオ・パルド市

Cia. de Terras Norte do Paraná
Rua São Bento Nº 329 - 8 and. — Tel. 3-4561
Caixa Postal Nº 2771 — São Paulo

Inscripção no. 12 no Registro Geral do Immoveis da Comarca de Londrina na forma do Decreto-lei no. 3079 de 15 de Setembro de 1938

謹賀新年
在伯二十萬の同胞 諸君よ
現下の國際情勢に直面して
各自その針路を誤る勿れ
何時までも疲弊の土地で
徒らに無理算段の勞費するのは
時代の要求に反するではないか
折角廣いブラジルまで渡り來て
井戸の中の蛙では
眞の安住地を求められぬ
吾等が永遠の理想鄉たるべき
國際植民地を見ず 知らずして
何んで一等國民と言はれよか
海外民族の發展を望まんとすれば
昭和十六年の春を迎へて
新らしき決心と奮發を以て
天惠に滿ちる國際植民地へ
躍進に 躍進の一歩を踏め！

昭和十六年一月一日
北パラナ土地會社日本人部
總代理人 氏原彦馬
Londrina E. F. S. P. P. Est. de Paraná
中央事務所 ロンドリーナ驛 郵函一五

子供自慢

「パパが二人、何だか機嫌で喜ぶつてこんな話をしてゐまし[illegible]

「うちの子はまだやつと五ツになつたばかりだが、もうピアノが彈けるぜ」

「うちのやつときたらまだ四ツになつたばかりだつてえのに、女房がピアノを彈きだすといそいで耳を押へて騒ぎ出すのさ」

法螺吹き

「まつたく世の中つてものは變ほつたね、以前俺なんかアフリカで虎狩りをしたものだが」

「もよいと待つてくれ アフリカに虎がゐたつけかな？」

「だからよ、俺が根こそぎ驅つちやつたんで、今は一匹もゐねえてのさ——」

明けましてお芽出度う御座います

本年も各位の御幸福を祈ります

ウニベルサール建築會社

本店　聖市

1940 - 1941

CASIMIRAS ADRIATICA

Rua José Bonifacio, 79

唯一無二内國製ガジミーラ

優秀外國製品と同じに

貴下の洋服お仕立地には常に品質を保證する

//ガジミーラ・アドリアチカ// 印を御撰擇あれ

ブリン・ヂ・ブーロ・リンニヨ＝トロオ

ピカル　デ・ラン

EXPRESSO NACIONAL

ANTONIO GOMES DA SILVA

本店　R. Senador Feijo, 110　Phone, 2-2600　S. PAULO

支店　R. Almeida Lima, 37　Braz - Tel. 3-2553　R. Brigadeiro Tobias, 745

謹賀新年

鐵道運輸一切

サンパウロ―レールエイ

ソロ線・セントラル線

公認取次所

エスプレッソ

ナシオナール

アントニオ　ゴーメス

ダ・シルバ

本店　聖市セナドール・フェイジオ街一一〇　電話二―二六六〇

支店　ブラス區　アルメイダ・リーマ街三七　電話三―二五五三

ブリガデイロ・トビアス街七四五

謹賀新年

相馬　公證譯　土地法律　事務所

聖市フェリツエ、デ、オリヴエイラ街

二一番七階五號室

電話二―七六〇九

郵函　四四一八

謹賀新年

封筒・トランプ・商店用帳簿類製造及び

―紙類卸賣―

COMPANHIA PAULISTA

― DE ―

PAPEIS E ARTES GRAPHICAS

直輸製造工業

サンパウロ―リオ市

活字、石版、製本、罫引、金箔付

用紙及び事務用品直輸

電話 3-2141　電畧 "COPAG"

郵函 No 193

本店　聖市　Rua Piratininga, No. 169

支店　Rio de Janeiro - Rua Pedro I No. 33

賀正

グワラペス日本人會

郵便部

吉瀨軍平

グワラペス市

賀　正

電畧 "MacFadden"　電話 3-3168 / 3-3169

郵函 2778

マックハーデン會社

MAcFADDEN & CIA. LTDA.

棉　花

精棉と輸出

工場
- マリリア
- プレシデンテ・プルデンテ
- プレシデンテ・ベルナルデス
- アグードス
- カブラリア
- オリンピア
- 北パラナ、ロンドリーナ

聖市

ラルゴ・ド・テゾウロ 16

15階

Fabrica de Balas "AOKI"

Av. João Gorgé, 444

Tel. 4-199 Campinas

謹賀新年

本年も相變らず御ひいきを願ひます

青木製菓子所

主人　青木伊次郎

店員　青木　上田　森幸　舍正　中省　紫島　川義　棚田　青木　紫町　田敬　昭吾　作實　刀潔　三永　月

海外同胞奉祝東京大會

八紘一宇の尖兵に畏し恩賞の御沙汰

綠綬褒賞蜂谷吾輔氏

大阪朝日新聞の報ずる處に依れば、八紘一宇の尖兵として海外に雄飛してゐる同胞たちに二千六百年式典の十日有難き綸旨の御沙汰があり、また拓務省でも海外綸旨の功勞者六百九十二名を表彰する旨發表した、勳六等瑞寶章を賜はる光榮の人々のうちには折しも海外同胞東京大會で聞國中の塚本松之助（サンフランシスコ）高見豊彦（ニューヨーク）井上直太郎の三氏、勳五等瑞寶章を賜はる光榮者に海洋開發の功勞者松山春次、山地佐太郎の兩氏があり、またいづれも聞國中の用彌右衛門（加州）蜂谷吾輔（リオ）花月榮吉（カナダ）覺本農之進（北米）岡田慶松（ペルー）の各氏には綠綬褒章を賜る旨の御沙汰を拜した

なほ拓務省が表彰する功勞者のうちには同胞大會で聞國中の久保田佐一郎（ハワイ）木村虎記（サクラメント）金澤芳太郎（サンフランシスコ）の四氏もあり海外同胞宿舎は同胞大會の喜び、式典參列の感激、叙勳の光榮、褒章の喜と歡聲の四重奏を奏でた

民間外交使節の心構へで奮闘せよ

海外同胞に有難き御言葉

紀元二千六百年奉祝海外同胞東京大會は、その御會式にあたり、畏くも東久邇宮殿下の台臨を賜つたことは既報通りであるが、十一月十三日午後二時天皇本部事務總長鈴木美通陸軍中將以下役員及び現地代表廿八名は宮家に可能御禮を言上した、海外事情につゐて御心をもたせ給ふ殿下には、特に一同に對し謹厳所にて謹を謹ひ、事務總長代理鈴木中將の挨拶を受けられて後、各現地代表諸氏からそれぞれ在留同胞と時局について約五分間づゝ御報告を御熱心に御聽取あらせられ、さらに「この上とも民間外交使節の心構へで奮闘せよ」との有難き御言葉を賜はり、一同感激感激して御前を退下、別室でお茶菓をいただき四時半退出した、鈴木中將は一同を代表して左の如く謹話した

殿下の海外同胞に寄せ給ふ御心の程は畏れ多い極みであります、一同は今日賜つた有難き御言葉の意を體し奉り、聞國後は全在留邦人にこれを傳へて協力一致奉公致す覺悟であります云々

職業の斡旋もする海外同胞中央會

海外同胞の連絡機關

紀元二千六百年奉祝海外同胞大會は十一月四日から五日間聞國中の海外同胞代表五十名中、さきに各部會に提案された海外同胞中央設置の件を正式に決定し、農商ならびに聞會を聞き、山陽聞總長以下本部役員、在外同胞代表五十名中、さきに各部會に提案された海外同胞中央設置の件を正式に決定し、同中央會一年間の募集十五万円のうち半分は聞國より半分は海外同胞の醵金により支弁、東京に中央會館を設置、毎年父は隔年海外同胞中央會議を開催し、母國と海外同胞との連絡、在外子弟の教育、職業斡旋などに當り、また拓殖神社（假稱）創建の資金募集をも行ふことになつた

海外雄飛の靈を祀る

十五萬柱に捧ぐ「慰靈殿」の計畫

海外處飛の礎石となつて異郷に骨を埋めた同胞慰靈殿建立運動が近く具體化することゝなつた！！大日本海外同胞慰靈殿建立會發起人會では十二日東京上野精養軒に發起中の海外同胞代表塚本松之助翁（八十四）ほか七氏を招いて晩餐會を開催、發起人代表三室戸敬光子、曾既代表一條實孝公、井上清純男、川崎巳之助代議士から交々昭和十一年同會發起以來の運動經過を報告、外務拓務兩相就任代議士後、宴に入り午後九時散會した、同會は昭和十一年夏頃山齋翁、石井秀次郎子ら政界財界の名士二百餘名の發起で結成以來關係者は諸會への勸誘、金下附請願提出、外務省を通じての物故者調査など諸般の準備に奔走しこのほど準備成り、サンタ・クルースの米作は一年間の運動經過を報告

Redação - Rua Lagundes, 198
Telephone 7-4670
Caixa Postal, 11

Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno... 60$000
„ Semestre... 30$000
Numero de dia .... 300 reis

Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIV — S. PAULO — QUARTA FEIRA 1 de JANEIRO de 1941 — DIARIO No 2369

Ano Novo no Japão

O ANO NOVO no Japão é um carnaval que dura oito dias. Um carnaval, porém, sem mascarados, sem guizos, sem serpentinas, sem sambas e sem cordões. Ha, apenas muita alegria pela vida nova ou velha, que todos irão desfrutar no ano que se inicia.

Cinco dias antes de findar o ano a cidade de Tokuio começa a vestir-se para receber o gurí que ficará barbudo e alquebrado após o decorrer de 365 dias, pesado com o peso do saco dos acontecimentos que sobreviverem durante aquele lapso de tempo.

Por todo lado ha trabalho de limpeza e ornamentação. A vassoura vai daqui para ali. As portas das casas de comercio ou de residencia são enfeitadas com galhos de pinheiro, de bambu e de ameixeira. A trindade florística que tira «urcubaca», que dá sorte. Ha varias versões a este respeito. Uns dizem que aqueles tres vegetais têm força de talismã, porque o bambu e o pinheiro permanecem sempre verdes e a ameixeira frutifica continuadamente mesmo depois de velha. Outros, entre eles o meu querido Luiz Pimental, asseveram que o pinheiro simboliza longa vida, incorruptibilidade e constancia, porque permanece verde, indiferente ao sol que canticia e ás nevadas que destroem todas as folhas. O bambu simboliza a petitão e o valor que os vendavais não vencem e a ameixeira que florece sob o frio das grandes geadas, simboliza a felicidade.

Numa lata, cheia de terra colocada nas soleiras das portas, são plantados tres pedaços de bambu com tamanhos diferentes. O mais alto representa sua majestade o Imperador, o do meio — o governo e o mais baixo — o povo. Todos retos, agindo retamente na mesma direção para a felicidade do Japão.

Por toda parte se vêem as «shimenawa» — cordas urdidas de palha de arroz. Essas cordas, ordinariamente são colocadas nos templos e servem para afugentar os demonios e os maus espiritos.

Nos lares, por mais pobres que sejam, ha o «Kami» que é uma especie de oratorio, onde é colocado o «mochi», bolo feito de arroz, o qual é oferecido aos antepassados, conforme o rito sintoista. O bolo não vem, todavia, isolado. Ha em cima dele uma laranja e folhas de «sakahi» e «urajiro» que adornam, formando leque, uma lagosta.

A noite de trinta e um de dezembro é a mais alegre e divertida do Japão. Não ha ninguem triste. E' mister sentir-se feliz no primeiro dia do ano, para aspirar boa sorte no decorrer do mesmo. E' preciso ser venturoso ao menos na aparencia, amargurando as dores, fiscais e morais, no amago do coração. O ladrão que irá chegar não gostará de ver ninguem com a cara amarrada. E ahi em todas as bocas um sorriso permanente.

1º de janeiro. Ha recepção no palacio. Os diplomatas vão cumprimentar S. M. o Imperador. Todos diante do Filho do Sol. Ao entrar no salão, um funcionario do palacio anuncia o nome do país, cujos representantes irão desfilar. São necessarias tres reverencias — uma ao entrar, outra diante de S. M. e outra ao sair. A cerimonia é interessante, já por si mesma já pelo colorido dos uniformes e pela graça da gente do sexo fragil de todos os paises do mundo. Ha no palacio um ambiente agradavel.

A festa é grande e intensa. Guirlandas de folhas e flores são dependuradas nas portas e nas janelas. Os mais lindos «quimonos» são tirados das arcas. Os cabeleiros têm trabalho continuo em armar as cabeleiras das geishas com o incommodativo oleo de camelia. Não só as filhas do prazer procuram enfeitar-se, as «musumés» com seus treze ou quatorze anos, as mocinhas sorridentes e saltitantes, as senhoras sizudas e mesmo as velhas já curvadinhas pelo tempo vivido, visitam os salões de beleza e as barberias. Quasi todas as japonesas se apresentam com a vasta cabeleira tradicional e milenar, e o rosto bem raspadinho e coberto de pó de arroz colocado abundantemente. Raspadinho? Sim, raspadinho. As lindas filhas da terra dos crisantemos, apesar da pele linda e rosada que possuem vão, ao menos duas vezes por mês, ás barbearias para fazer, gostosamente o sacrificio que nós os barbados nos submetemos diariamente, e dregado o barão ao figaro. Não ha penugem que fique nos rostos, nas orelhas e nas testas «laquejas» bonequinhas de porcelana... japoneza. As «evas» são todas vaidosas quer nasçam nas plagas das cerejeiras, quer vivam no torrão ardente da Africa ou na gleba morena do nosso Continente. E assim, lá todas elas se apresentam para os festejos do «shogatsu» — o Ano Novo.

Recepção no Palacio dos Campos Elyseos

De accordo com o cerimonial do Estado, o o interventor Adhemar de Barros dará, no dia 1 de janeiro, ás 15 horas, recepção solenne ao mundo official, no palacio dos Campos Elyseos.

O traje para os civis será fraque e chapeo alto e, para os militares, o uniforme correspondente.

Palácio do Thesouro

Nunca é demais encarecer o significado de iniciativas como a que teve o sr. Adhemar de Barros autorizando a construção do magestoso edificio na Esplanada do Carmo, abrigará tôdas as dependencias da Secretaria da Fazenda do Estado.

Essa concentração de repartições fazendárias representa economia de tempo e de dinheiro, dois fatores indispensáveis á boa marcha dos orgãos administrativos. E que atualmente as várias secções da Secretaria da Fazenda acham-se dispersas em vários prédios, distantes ás vêzes muito distantes uns dos outros. Essa anomalia não atinge apenas ao contribuinte, forçado, muitas vêzes, a dispender um tempo apreciavel para saldar seus compromissos com o erário publico. Atinge tambem o trabalho do funcionario obrigado a se desdobrar em esforços quando sua presença é reclamada em dependencia da Secretaria que fique longe do local onde exerce suas funções.

Há ainda um aspecto da questão que deve ser pôsto em relêvo; é o caso dos alguéis que o govêrno paga, hoje, aos proprietarios dos diversos prédios onde funcionam repartições da Secretaria da Fazenda. Esses alguéis atingem a soma de mil e cem contos como declarou o sr. Mario Rolim Teles. Alguns dêsses prédios, aliás, deixam muito a desejar em matéria de conforto e de adaptação as exigencias das repartições a cujos misteres servem.

O futuro edificio da Secretaria da Fazenda solucionará — e solucionará bem — todas essas questões, com a vantagem de ser um prédio a ser construido segundo as mais rigorosas exigencias da arquitetura moderna. E o Estado vendendo apenas três proprios, ora ocupados por dependencias da Secretaria da Fazenda, construirá com o produto dessa venda, o magestoso edificio da Esplanada do Carmo, o que vale por uma operação financeira de otimos resultados para as finanças publicas.

Modestia Japoneza

Hokusai, o velho louco da pintura japoneza talvez o maior dos artistas nippões, viveu até a idade de noventa annos, deplorando assim mesmo a brevidade da vida e a lentidão com que se chega á perfeição.

«Com a idade de seis annos, dizia elle, aposou-se de mim uma curiosa mania de desejar toda especie de coisas. Com cincoenta annos já tinha produzido muitas, obras mas nenhuma me satisfazia. Com setenta annos, é que comecei a trabalhar. Agora na idade de setenta e cinco annos é que começa a despertar em mim um verdadeiro sentido da natureza.

Por isso espero ter aos oitenta annos um certo poder de intuição que se desenvolverá ate aos noventa. Aos cem annos serei, emfim um artista. E se me fosse dado viver até a idade de cento e dez annos creio que uma comprehensão verdadeira e vida da natureza se irradiaria de cada uma de minhas linhas e de cada um dos pontos que eu desenharia...

E com essa modestia foi Hokusai o maior pintor japonez!

DIPLOMATICAS

Noticias procedente de Tokio informam que foi nomeado Consul do Japão em Curityba o sr. Shun-Ichi Komine, antigo secretario da Embaixada japoneza no Rio. Figura bastante conhecida nos meios brasileiros, a nova da sua nomeação para dirigir o Consulado da sua Patria na Capital do Paraná encheu de alegria todos quantos têm a fortuna de contal-o como amigo.

O illustre diplomata deverá embarcar dentro em breve para o nosso Paiz.

LEIA O NOSSO

KODOMO NO SONO

Supplemento do jornal "Noticias do Brasil"

謹賀新年

棉花並一般農産物買仲

佐々木兄弟商會

郵函四三

支店 サンタ・アントニオ

バール 山田商店

郵函三五

ソロカバナ線インヂアナ驛

謹賀新年

昭和十六年一月元旦

輝かしい日本！大躍進の我等が組織、何たる感激でせう！躍て在伯同邦二十余万、百二十万町歩の開拓！孤立無援：立つか倒るか、如何にや和戰士の築きし偉業：此新開史が……

限多し天鑑の光榮に浴せし

ブラジル情景大寫眞帖

寫眞のみで綴れるもの 金百鈔

昨年三月以降老生昔日の若さに返り、全線脚行、正に一万キロス、いづれよりも絶大の御優待御買上を頂きました、深謝申上ます、歩みの緩く限り！海外宣傳に生抜きたいと存じます、何卒御援助海外宣傳に御利用下さい

復寫、引伸、組合寫眞帖御下命に應じます

マリリア市ポンフィン街一三八三

中山夢浪

謹言

正賀

インヂアナ驛賣店

名劍義一

ソロ線インヂアナ驛

◎各列車毎に十分間停車す、この間御利用願ひます

正賀

立澤飲料水製造工場

ソロカバナ線レゼンテエジョ驛

郵函一四六

CASA BANDEIRANTES

謹賀新年

内外雜貨
棉花仲買

カーザ バンデランテス

本山喜久雄

バ延長線
フエルナン・デーアス驛
郵函六一

BAR MUNICIPAL
Matriz Tupan — Filial Pompeia

謹賀新年

ツウパン本店
池田等

池田接二

ポンペイア支店
中島研助
池田清

正賀

純日本食事
うどん丼類
生魚取扱

二宮旅館

ソロカバナ線ア・マッシャード驛

郵函一九〇

謹賀新年

バラグワスー商工組合
(順序不同)

棉花仲買
運搬業貸自動車
ポスト・ガゾリーナ
彔金明
電話一四番
郵函八九番

バール、ソルベタリア
洋服仕立所
彔藤太郎
郵函八九番

菓子製造業
卸・小賣
福田兼雄
郵函一三六番

(林)
ホテル
丸林繁太
電話三一番
郵函九三番

洋服店
田崎德松
郵函一三六番

雜穀棉花仲買
カーザ東山代理店
黑岩秀吉
電話一〇番
郵函下

内外雜貨商
樋之上商店
郵函一一一番

食堂、トーフ製造
稻田大吉
郵函七四番

新年

謹賀新年

モヂアナ線リベロンブレツト市

親愛會

野菜果物商
井上商店
メルカード内バンカ六番 七番 八番

内外雜貨商
西宮商店
ジョゼー・ボニフアツシオ街五五

朝日洗濯所
川崎敬司
バライバ街五七 電話八七四

内外雜貨商
吉海商店
ジョゼー・ボニフアツシオ街四七

運送業
内田富雄

黎明塾
刑部武
宮村義就
外生徒一同

野菜果物商
久保田增美
メルカード内三三

トマラ及果物仲買商
アナスタシオ福澤
メルカード内バンカ五番
デポジト三六番

アウロラ洋服店
佐藤捷國
菅原一雄
ジョゼイ・ボニフアツシオ街四九

アルマゼン・マグリ棉花部
C.A.I.C土地植民會社代理人
三河惠一

パウリスタ鐵道會社
土地植民會社事務所
三上武雄

ホテル・サンパウロ
南澤利治
ゼネラル・オゾーリオ街二四(驛前通)
電話三九〇